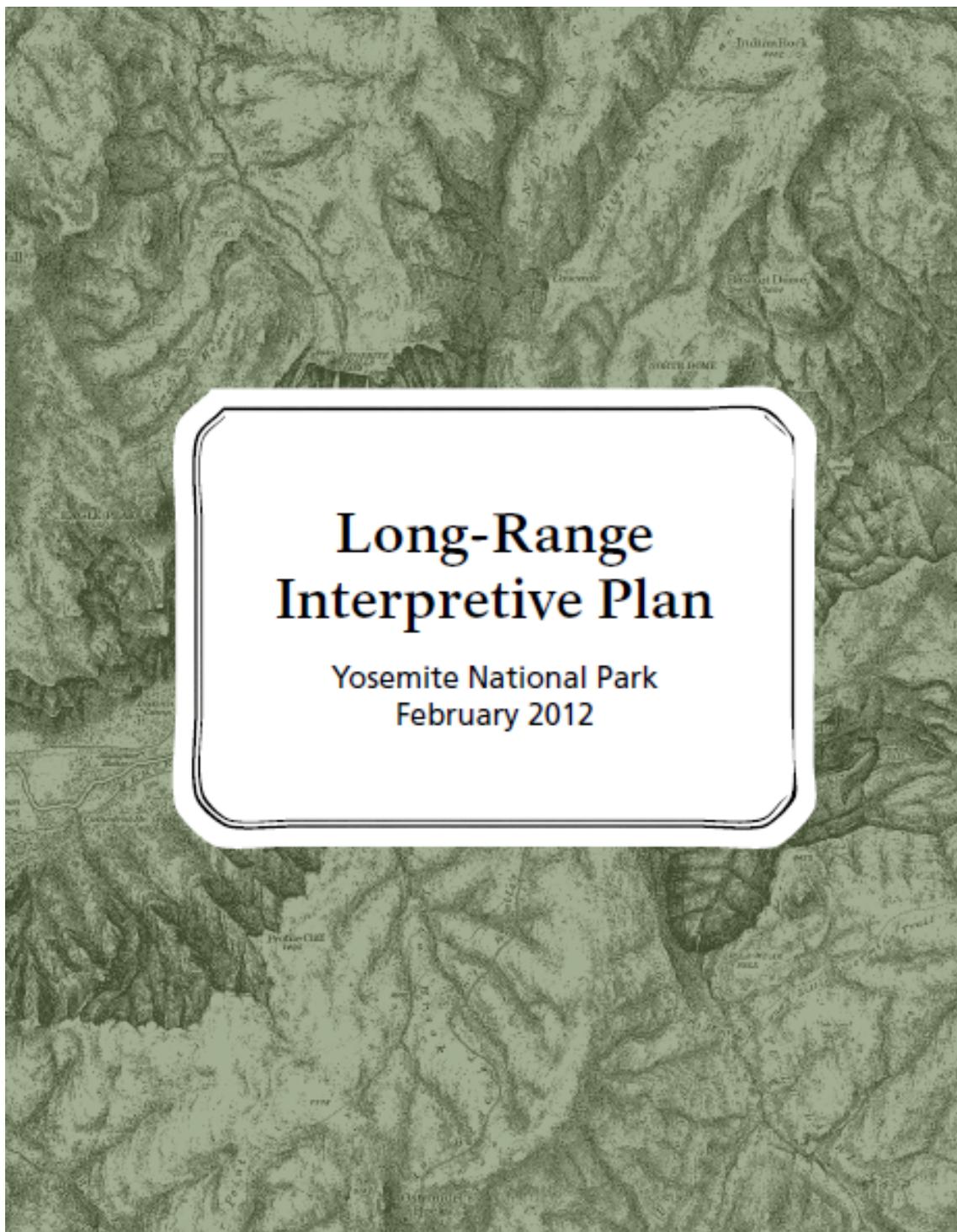


この資料はアメリカ国立公園であるヨセミテ国立公園が公開している資料を  
AI自動翻訳を用いて仮訳した資料です。再配布を禁止します。



## 目次

第1部.....	4
総合的なインタープリテーション計画.....	5
導入：長期的なインタープリテーション計画.....	6
プランニングの基礎.....	9
公園の目的.....	10
資源の重要性.....	12
インタープリテーションのテーマ.....	14
ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育の管理目標.....	34
来園者と観客（オーディエンス）の特徴.....	41
観客体験の目標.....	56
従業員と来園者の安全.....	58
インタープリテーション・パートナーの役割と責任.....	59
ヨセミテのインタープリテーション・マネジメント・チーム.....	64
付録A：.....	65
付録B：.....	66
第2部.....	68
ヨセミテは世界を感動させる.....	70
インタープリテーションに影響する問題.....	72
推奨のパターン.....	78
1. 地元コミュニティでの体験.....	78
2. ゲートウェイ・コミュニティの人々へのアプローチ.....	83
3. 公園の入口と境界における人々へのアプローチ.....	88
4. ヨセミテの主要な目的地.....	90
5. 一般的な運用上の推奨事項.....	104

この資料はアメリカ国立公園であるヨセミテ国立公園が公開している資料を  
AI 自動翻訳を用いて仮訳した資料です。再配布を禁止します。



第 1 部

**Long-Range  
Interpretive Plan  
*for*  
Yosemite National Park**

**PART ONE:  
FOUNDATION FOR PLANNING**

**YOSEMITE NATIONAL PARK  
FEBRUARY 2012**

## 総合的なインタープリテーション計画

ヨセミテのインタープリテーション全体計画 (Comprehensive Interpretive Planning (略称:CIP))は、来園者が望む体験のビジョンであり、インタープリテーションの青写真です。そして CIP では、公園の資源保護における教育の役割として、3つの要素から構成されています：

- ・長期インタープリテーション計画 (Long-Range Interpretive Plan (略称:LRIP))  
5～10年の計画は CIP の骨格であり、ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育の現状と、望ましい将来像を明らかにしています。

- ・年間実施計画

LRIP に従った年間実施計画の実施は、長期計画のビジョンを実現します。

- ・インタープリテーションのデータベース

計画の文書、目録、インタープリテーション・プログラムの概要、調査資料、ボランティア・プログラムの方針、運営資料などを網羅し包括的なデータベースは、公園内のインタープリテーションと教育活動に欠かせない重要な資料です。

CIP は、インタープリター、教育者、管理者、プランナー、デザイナーなど、ヨセミテの物語を世界と共有する責任を持つ全ての人々が使用する計画です。CIP の基本的な目的は、人々がヨセミテの文化的・自然的資源とのつながりを促進し、生涯をそのスチュワードシップ (受託責任) と保護に捧げるよう促すことです。

注：この計画の DVD 版には、ベストプラクティス (最善の方法) を説明し、創造性と革新性を刺激することを目的とした、音声、ビデオ、写真や、データベースを含んだコンテンツが入っています。

## 導入：長期的なインタープリテーション計画

NPS（アメリカ国立公園局）におけるインタープリテーションと教育（インタープリテーション&エデュケーション）の目的は、公園で思い出に残る有意義で感動的な体験を提供し、国の自然および文化資源の意味と関連性に対する国民の理解を深めることです。

ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブは、1864年にエイブラハム・リンカーンがヨセミテ許可証に署名し、公共の利益と景観美の鑑賞のために確保された最初の風光明媚な自然地域となりました。それ以来、ヨセミテは人々の利益と楽しみのために自然と文化資源を保護するリーダーであり続けています。ヨセミテは、インタープリテーションと教育を、資源保護と訪問者の楽しみを増やす手段として取り入れた最初の公園です。

19世紀後半から、ヨセミテを訪れる人たちのガイドとして、あるいはヨセミテのプロモーターとして活躍した人たちがたくさんいました。しかしその中には、うそっぽい話や間違った情報を提供する者もいました。その中でジョン・ミュアアのインタープリテーションは、ヨセミテの科学、美しさ、必要性を誠実かつ雄弁に、力強く語り、インタープリターの模範となりました。彼のインタープリテーションは、他の人々にヨセミテを深く理解させ、ヨセミテに対する感覚と、ヨセミテを保護する責任を育むことにつながりました。ミュアア曰く「一日、山に触れることができれば、荷車何台分もの本を読むよりもいい。自然が写真家の被写体としてどれほど喜んでポーズをとっているか見てみよう。地球の化学物質の中で、人間の魂の化学物質ほど敏感なものはありません。ヨセミテ公園は憩いの場であり、低地の轟音と埃と疲れと神経と消耗に満ちた仕事からの避難所です。この高貴な公園は、学問と美学を楽しみ、一生を送るのに十分な広さと豊かさを備えています。誰もその魅力から逃れることはできません。その自然の美しさは、火のように清め、暖める…。個人の果樹園や公共の公園の木々のように、政府は山にある全ての野生の木立や森を保護するべきです。価値は言うまでもない。木材の価値は、町のあらゆる庭園や公園よりもはるかに高いのです」



ジョン・ミュアアと編集者のロバート・アンダーウッド・ジョンソンは、ヨセミテ国立公園設立運動のきっかけを作りました。ジョンソンはミュアアに、2本の雑誌記事を書くよう

に勧めました。一つはヨセミテの美しさを絶賛する記事、もう一つはヨセミテに対する脅威を記録した記事です。これらの記事が出版されてから1年も経たない1890年、連邦議会はヨセミテ国立公園を設定しました。

設立間もない国立公園局（NPS）の初代局長であったスティーブン・T・メイザーは、公園、特にヨセミテの保護に対する支持を得る必要性を認識していました。1919年、彼はハロルド・C・ブライアント博士（カリフォルニア州魚類狩猟委員会）とロイエ・ホルムズ・ミラー博士（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）が、タホ湖の近くで行っていた自然ガイド活動を目にしました。メイザーは彼らが国立公園に必要な人材であることに気づき、ヨセミテ・バレーでネイチャーガイド・サービスを始めるよう説得しました。翌年、ブライアントとミラーは、ボランティアのイーニッド・マイケルとともにヨセミテ・フリー・ネイチャー・ガイド・サービスを開始。国立公園のインタープリターが誕生したのです。

過去1世紀にわたり、ヨセミテ NPS のインタープリターは幅広いサービスを提供してきました。博物館やビジターセンターの運営、散策、講演、ハイキング、ジュニアレンジャープログラム、ハイシエラループトリップ、バレーフロアツアー、スノーシューウォーク、クロスカントリースキーツアー、キャンプファイヤー、記者会見、学校のカリキュラムに基づいた体験の提供、展示物、パンフレット、ポッドキャスト、ビデオの作成などです。今日、NPS のインタープリテーションと教育部門は、エデュケーション、フィールド・オペレーション、インタープリテーション・サービス、ミュージアム、ボランティア・プログラムの5つの部門を通じてその機能を遂行しています。

ヨセミテのNPS各部門は、インタープリテーションと教育部門に加え、来園者のためのインタープリテーション、教育、ボランティアの機会をサポートしています。事務職員は、来園者を出迎え、問い合わせに対応します。料金徴収係は来園者を歓迎します。施設職員は、道路、トイレ、トレイルなど、他のどの職員よりも多くの場所で来園者と接します。科学者や資源管理者は、修復作業や科学的発見の体験に、来園者を参加させる機会を設けます。公園のプランナーやプロジェクトマネージャーは、来園者や利害関係者と交流し、公園の公開プロセスへの参加を促す手助けをします。レンジャーは、取り締まりや救助の必要性を減らすための対策として、積極的な教育に努めています。全ての部門は、運営目標を達成し、スタッフワードシップの機会を提供するためにボランティアに参加しています。

公園のインタープリテーションと教育的な取り組みにおいて、非政府のパートナーも同様に重要な役割を果たしています。公園の売店は年間数百万人の来園者と交流し、来園者の経験を高めるためにインタープリテーション・プログラムを提供しています。

ヨセミテ・コンサーバンシー（Yosemite Conservancy）、ネイチャーブリッジ（NatureBridge）、シエラ・クラブ（Sierra Club）などの非営利支援団体は、多額の資金、プログラム、その他の支援を提供しています。

ヨセミテのようにダイナミックでドラマチックな場所では、人々がこの国立公園やすべての国立公園とのつながりを感じられる機会を提供するために、連邦政府、民間、非営利団

体の才能を結集した、インタープリテーションと教育的な運営が複雑であることは、驚くにはあたりません。ヨセミテにおける最初の公式インタープリテーション・プログラムは、レンジャーによるものではなく、ヨセミテ・フリー・ネイチャー・ガイド・サービス (Yosemite Free Nature Guide Service) というパートナーによるものでした。インタープリテーションのパートナーシップは、ヨセミテ国立公園におけるインタープリテーションと教育サービスのあり方そのものであり、これまでもそうでした。したがって、パートナーシップはこの計画全体に浸透しています。

年間約 400 万人の人々が、各々が定義する有意義な公園体験を求めてヨセミテを訪れます。公園スタッフにとっての課題は、来園者がどのような体験を望んでいるかを理解すること、その体験が NPS のミッションに合致しているかを判断すること、そしてそのような体験を安全かつ持続可能な方法で提供することです。公園のインタープリターとボランティアは、所属する部門や協力団体に関わらず、来園者に力強いつながりや有意義な体験を提供するために、巧みかつ総合的に協力することができます。そうすることで、ヨセミテを知った来園者はヨセミテを大切に思うようになり、最終的にはこの特別な場所の管理者になるのです。

この長期インタープリテーション計画の目的は、ヨセミテ国立公園におけるインタープリテーションと教育、来園者が次の時代へ進むためのビジョンと構造を提供することです。

## プランニングの基礎

ヨセミテにおけるあらゆる計画策定作業は、公園の目的と意義、すなわち公園の有効化法、有機法（Organic Act）、原生地域法（Wilderness Act）などの後続法、1980年の一般管理計画（GMP）を含む中心的な計画文書に基づくものです。

1980 General Management Plan (GMP).

[https://home.nps.gov/yose/learn/management/upload/YOSE\\_104\\_D1316B\\_-id338162.pdf](https://home.nps.gov/yose/learn/management/upload/YOSE_104_D1316B_-id338162.pdf)

公園の目的と意義は、インタープリテーションのテーマ、つまり公園のインタープリターが、人々が知的にも感情的にも公園の意義とつながる機会を作り、スチュワードシップを育むためのストーリーを形成する指針となります。

最後に、効果的な計画を立てるためには、インタープリターは管理目標、来園者のニーズと期待、そして現在と将来においてインタープリテーションと教育が直面する重要な問題を理解しなければなりません。

目的、意義、テーマ、管理目標、訪問者のニーズ、重要な問題を基礎として、公園の管理者はヨセミテのインタープリテーション、教育的、スチュワードシップ・プログラムの将来について、より効果的な選択をすることができます。このセクションで定義する最初の項目は、公園の目的です。

## 公園の目的

1864年の連邦議会では、リンカーン大統領が署名し、ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブ（セコイアの巨木群）をカリフォルニア州に譲渡しました。これらの土地は、「公共の利用、保養、レクリエーションのために...永久に譲り受けることができない」。これが、ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブの目的と管理の最初の指針となりました。1890年、連邦議会はヨセミテ国立公園を指定し、内務長官に公園を「森林保護区」として管理する責任を課し、ヨセミテ一帯に保護範囲を広げました。しかしこの法律では、ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブは除外され、州の管轄下に置かれました。1905年、カリフォルニア州議会はヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブをアメリカ合衆国に返還。1906年、連邦議会は州からの補助金を受け入れ、これらの土地をヨセミテ国立公園に加えました。

公園の立法経緯と最初の計画文書、特に1980年の一般管理計画（GMP）と1994年の管理計画書（SFM）草案には、公園の存在目的が記されています。

1864 act of Congress,

<https://memory.loc.gov/cgi-bin/ampage?collId=amrvl&fileName=vl001//amrvl001.db&recNum=0&itemLink=r?ammem/consvrbib:@field%28NUMBER+@band%28amrvl+vl001%29%29&linkText=0>

Congress accepted the state grant in 1906 and

[https://memory.loc.gov/cgi-bin/ampage?collId=amrvl&fileName=vl083//amrvl083.db&recNum=0&itemLink=D?consvrbib:4:./temp/%7Eammem\\_W1AV::&linkText=0](https://memory.loc.gov/cgi-bin/ampage?collId=amrvl&fileName=vl083//amrvl083.db&recNum=0&itemLink=D?consvrbib:4:./temp/%7Eammem_W1AV::&linkText=0)

1980 General Management Plan (GMP) and

[https://home.nps.gov/yose/learn/management/upload/YOSE\\_104\\_D1316B\\_-id338162.pdf](https://home.nps.gov/yose/learn/management/upload/YOSE_104_D1316B_-id338162.pdf)

- ・風光明媚な美しさ、傑出した原生地域の価値、シエラ・ネバダのほぼ全ての多様な環境、シエラネ・ネバダを形成した地質学的プロセスの証拠、歴史的および先史時代の文化的資源など、ヨセミテの魅力に貢献する資源とダイナミックなプロセスの両方を保護します。
- ・ヨセミテの多様な資源を、NPSの組織法に適合した方法（すなわち、将来の世代に「損なわれることなく残す」方法で使用）で、人々の楽しみ、教育、インスピレーション、レクリエーションのために利用できるようにします。

この2つの記述では、環境、自然資源、景観、プロセス、文化資源は大まかに記述されていますが、定義されていません。資源の重要性に関する記述は、これらの概念を拡大したものです。

## 資源の重要性

以下、資源の重要性の記述は、一般管理計画やその後の計画、パブリックコメント、科学的・歴史的調査など、公園計画の文書やプロセスに基づいています。これらの記述は、ヨセミテ国立公園が今日、アメリカおよび世界の遺産にとって重要な理由は、以下の通りです。

- ・峰々、峡谷、断崖、ドーム、川などの素晴らしい景観、巨大な滝、牧草地、野生動物、森林など。

- ・巨大な花崗岩のドームの集合体やユニークな特徴、豊かな火山と氷河の歴史から生まれたユニークな地形。3つの世界最大の花崗岩の一枚岩がヨセミテ・バレーにあります。

- ・3つのジャイアント・セコイアの木立。そのうちの1本はヨーロッパ系アメリカ人が初めて目にしたもので、法律で最初に保護されました。

- ・704,624 エーカーの原生地域（公園の94.45%）。国有林や他の国立公園とともにシエラ・ネバダの国有林や他の国立公園と合わせると、ヨセミテは、全米48州の中で2番目に大きい連続した原生地域の一部です。

- ・2つのワイルド・アンド・シーニック・リバーに指定されているトゥオルミ川とマーセド川の上流域は、公園境界内で保護されています。

Two designated Wild and Scenic Rivers,

<https://home.nps.gov/yose/learn/nature/hydrologist-film.htm>

- ・トゥオルミ・メドウズは、シエラ・ネバダ最大の亜高山帯の牧草地群であり、一般市民がアクセスできます。

- ・ヨセミテの多様な自然システムは、世界的な人口増加とそれが環境に与える影響という文脈の中で重要性を増しています。ヨセミテは重要な生きた研究室であり、聖域であり、比較的手つかずの自然環境の例です。3,500万人以上の人口と急速な人口増加を抱えるカリフォルニア州では特に重要な意味を持ちます。

- ・公園の広い標高範囲、連続した気候帯、広大な面積によって育まれた、類まれな生物多様性。

- ・公園内に保護されている土地は、現代アメリカ・インディアンのいくつかの部族の先祖代々の故郷の一部です。口承伝承と考古学的証拠は、少なくとも8,000年前から人類がヨセミテ一帯に住み続けてきたことを示唆しています。

- ・ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブは、1864年にヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブが誕生した地です。ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブは、世界中に広まった国立公園構想の1864年の発祥地です。

- ・重要な要素には、陸軍（バッファロー・ソルジャーズを含む）の役割、初の女性法執行レンジャー（1917年）、インタープリテーションの正式な制度（1920年）、150年にわたる一般利用管理の進化への参加、国立公園局初の非営利スチュワードシップ・パートナーの

設立などがある。ヨセミテの管理に関する継続的な意思決定は、世界中の公有地のスチュワードシップに影響を与えています。

- ・国立公園局のラスティック建築様式発祥の地で、数々の重要な歴史的建造物があります。ヨセミテは、西部のすべての公園に設計サービスを提供する最初の NPS 景観設計事務所の本拠地です。公園内では 5 つの建造物が国定歴史建造物に指定され、3 つの歴史地区 12 の先史時代考古学地区を含む 600 以上の建造物が国家歴史登録財に指定されています。

historic structures.

<https://home.nps.gov/yose/learn/historyculture/historical-architect-film.htm>

- ・ 1984 年に世界遺産に指定され、アメリカで 21 箇所しかない国際的に認められた場所のひとつとなりました。
- ・ ヨセミテ渓谷とキャンプ 4 がビッグ・ウォール・クライミングの歴史に果たした役割と、クライミング技術やクライミング用具の発達は、世界中に広まりました。

まとめれば、ヨセミテに保存されている具体的な物、出来事、プロセス、考え方を記述しています。インタープリテーション計画における次のステップは、これらのステートメントをインタープリテーションのテーマに拡大することです。

## インタープリテーションのテーマ

インタープリテーションの主要なテーマは、公園の意義に関する声明を、様々な説得力のあるストーリーに変換するものです。これらの主要な公園テーマは、ヨセミテに関するアイデア、コンセプト、メッセージを説明するもので、来園者が公園の意味や意義と個人的なつながりを持つための最も幅広い機会を提供します。最も優れているのは、主要なテーマが、公園の重要な有形要素を普遍的な概念-最も広く感じられ理解されている資源の意味-に関連付けることです。これらのテーマは、語られるべきインタープリテーション的なストーリー、使用されるべき方法、それらのストーリーを語るために必要な施設や活動に関する決定を下すためのガイドラインになります。主要テーマは、インタープリテーションの全てのトピックを含むとは限りませんが、そこに含まれる普遍的な概念は、公園の意義の理解を直接的にサポートするものでなければなりません。メディアや個人的なサービスを含む全てのインタープリテーションの取り組みは、一つ以上の主要なインタープリテーションのテーマに関連します。関連する副次的テーマのいくつかの例は、各主要テーマの記述の後に続きます。これらは全てを網羅するものではなく、各主要テーマの基礎から構築される可能性のある、より具体的なテーマの例を示しています。



ヨセミテ滝の湧水

Yosemite Falls Spring Flow

<https://www.youtube.com/watch?v=2mSNY3TdDZ4>

1. ヨセミテの美しさは、世界中のあらゆる階層の人々を魅了し、日常生活の重圧やストレスから解放され、平和、静寂、安らぎの感覚をもたらしてくれます。

ヨセミテ、特にヨセミテ・バレーの壮大な景観は、アメリカン・インディアン、入植者、そして新参者たちに、この土地との精神的なつながりを促しました。このようなつながりは、さまざまな形で、人々にこの地を大切にする気持ちを与え続けています。ヨセミテの風景は世界中の人々の想像力を刺激し、芸術的な表現にインスピレーションを与え、ヨセミテ国立公園だけでなく、他の野生の場所への関心を高めています。



花崗岩、アッパー・マーセドリ・リバー・キャニオン

Granite, Upper Merced River Canyon

<https://www.youtube.com/watch?v=mgnzSTY5zRg>

2. ヨセミテの複雑でダイナミックな地質学的プロセスは、世界有数の景観と重要な科学的研究の機会をもたらし、非常に多様で変化する景観を作り出しています。

ヨセミテの巨大な地質は神秘的な感覚を呼び起こし、人々を宗教的、科学的な説明へと駆り立てます。ヨセミテ国立公園の地質学的特徴は、山の形成と氷河の影響の壮大な例とともに、地球の歴史の多くの章を明らかにしています。



マリポサ・グローブ

3.ジャイアント・セコイアは、ヨセミテ補助金創設のきっかけや、ユニークな場所の保護、サバイバル、古くて大きい生き物の驚異など、ヨセミテにまつわる物語を共有する機会を与えてくれます。

ジャイアント・セコイアは何千年もの間、火災、気候変動、そして人間の影響を受けながら生き延びてきました。この感動的な樹木が今後も生き残り続けるためには、さらなる科学的研究と、重要な水文学的条件や頻繁な火災など、ジャイアント・セコイアが生息する環境の保全が不可欠です。ジャイアント・セコイア (*Sequoiadendron giganteum*) は、世界の生息数の3分の1以上が伐採されています。ヨセミテは、世界に現存する約75の木立のうち3つを保護しています。ジャイアント・セコイアが想像力をかき立てるのは、その美しさ、巨大さ、そして古代のものであること、そして何世代もの人類と歴史的な大事件を経て、2,000年以上も生き残っていることです。

Mariposa Grove

<https://www.youtube.com/watch?v=GBiHAGYJXVQ>



オレンジの流れ、シェラ・クレスト

4.原生地域という概念は、アメリカ人にとって最も価値のある原生地域が存在するという信念のもと、アメリカで生まれました。ヨセミテ原生地域は、人々が自然界との関係を考察するための特別な場所であり続けるために、原始的な特徴を維持するように管理されています。

ヨセミテ原生地域は、個人の健康と再生、冒険、挑戦、インスピレーション、芸術的表現、そして未来への展望の機会を提供してくれます。健全で多様な生態系の基盤として、ヨセミテ・ウィルダネスをはじめとする残された野生地は、希少種や絶滅危惧種の重要な生息地を提供し、世界中の自然システム全体の健全性に重要な役割を果たしています。原生地域の存続は、原生地域という概念に対する個人や社会のコミットメント、そして訪問者の適切な利用と行動にかかっています。ヨセミテ原生地域は、個人的な充実感を提供する一方で、天候、

地形、水、野生生物、その他の自然要素に関連する固有のリスクがあります。訪問者の安全を保証することはできませんが、適切な旅行計画、十分な技術、責任ある行動によって、より高めることができます。ヨセミテ原生地域の保全は、美しい夜空の保全にもつながり、夜空にまつわる文化と自然の物語をより深く理解することを可能にします。

Stream of Orange, Sierra Crest

<https://www.youtube.com/watch?v=qB7uuwBL8lg&list=PL890957589F8403A4&index=19>



カスケードの詳細、トゥオルミ川、水車滝の下

5. 国立公園が国の物語を伝えるように、ワイルド・アンド・シーニック・リバーには、その川岸や流れる水の中に国の自然遺産や文化遺産が含まれています。

ワイルド・アンド・シーニック・リバーズ法は、指定された河川を、現在および将来の世代の人々のために、自由な流れの状態で保護するものです。人々はヨセミテの川と力強く永続的な関係を築いてきました。これらの川とその周辺の土地は、何世代にもわたるアメリカン・インディアン、地元住民、そして観光客の生活、物語、伝統の中で重要な位置を占めてきました。

北のトゥオルミ川(1984年にワイルド・アンド・シーニックとして連邦議会により指定)と南のマーセド川(1987年に指定)は、ともにライエル山に源流を持ちます。この2つの野生の川は、その分流や主な支流とともに、シエラ山頂とシエラ山麓の間の140マイルに及ぶ

コリドー（回廊）として公園を横断し、多様な生態系コミュニティの基盤を形成しています。

Cascade Detail, Tuolumne River, below Waterwheel Fall

<https://www.youtube.com/watch?v=80CulKuksHc>



ワイルドキャット・ピークからのトゥオルミ川

6. 6,000年以上の間、人々はトゥオルミ川、その草原、そして周囲の花崗岩ドームと直接関わってきました。幾重にも重なる人類の歴史は、インスピレーション、議論、精神的な再生の場としてのトゥオルムの物語を伝えています。

トゥオルミの亜高山帯の牧草地システムは、渡り鳥や特別種の植物、両生類、コウモリを含む動植物種にとって、非常に多様な生息地を支えています。沖積盛土の大規模な流域、恒常的に高い地下水、季節的な洪水、活発な水路の移動が組み合わさり、シエラ・ネバダで最も広範な亜高山帯の草地と樹地の複合体を維持しています。氷河によって削られ、雪に覆われた地形の中をトゥオルミ川が蛇行しながらトゥオルミ・メドウズを横切り、人々がトゥオルミ川回廊と同一視する、独特の特徴を持った壮大な景観を作り出しています。広々とした牧草地からは、シエラ・ネバダ山脈で最もよく見える暗い夜空や日中の雷雨など、壮大な空

を見渡すことができます。

トゥオルミ・メドウズの史跡は、この場所が全国規模の自然保護活動を鼓舞したことを記念しています。トゥオルミ・メドウズは、ヨセミテのハイカントリーを冒険するための素朴な中継地や出発点としてだけでなく、人々と自然や文化遺産とのつながりを取り戻す場所としても有名です。幅広いレクリエーションの機会により、様々な年齢層や能力の人々がトゥオルミ・メドウズに集まり、多くの個人、家族、グループがこの地域と長く続く絆を築いています。



標高の高いヨセミテに生息するピカ

7.ヨセミテの手つかずの自然環境は、類まれな多様な生物を育み、重要な生きた研究所の役割を果たしています。

ヨセミテの標高は変化に富んでおり、植生の種類、生息地、地質学的歴史の違い、水文学の特異性など、気候変動、火災の影響、野生生物など、さまざまな科学的研究の可能性が広がっています。ヨセミテは、魅力的で複雑な動植物群落の聖域であり、自然の多様な美しさを楽しみ、生命への愛情を深める機会を提供してくれます。ヨセミテの火災地形は、地球規模のシステムの変化とともに進化し続けています。このダイナミックなシステムにおいて、人間は重要なリンクとなっています。一方、特別に懸念されるいくつかの種を含む多くの動植物種は、継続的な健康のため、火災に依存しています。ヨセミテに生息する大小さまざまな野生生物は、公園内の幅広い生息域に住処を作り、生命の網の目における彼らの位置づけ

をより深く理解する機会を与えてくれます。例えば、先住民にとってクマは深い精神的価値を持ち、多くの人々にとってクマは原生地域の象徴です。

外来種の侵入、気候変動、土地開発、観光客が多く訪れる場所など、人間が引き起こした影響は生物の多様性を脅かすため、在来種の生存を促進するよう管理しなければなりません。

Pika (*Ochotona princeps*), a high elevation Yosemite resident.

<https://www.youtube.com/watch?v=yneADYBWRvs&list=PL890957589F8403A4&index=4>



ヨセミテ・ミュージアムでドングリ作りを実演するジュリア・パーカー

8.現在ヨセミテ国立公園と呼ばれる地域に住み、またはそこを旅する間、多くのアメリカン・インディアンのグループが資源を交換し、知識を交換し、時には結婚し、その伝統は今日まで続いています。

ヨセミテ・インディアンの祖先がどのように生活し、愛し、礼拝し、子供の世話をし、死と向き合ってきたかを知ることで、来園者はヨセミテの古代人と彼ら自身の過去に敬意を払いながら、人間の条件についての洞察を得ることができるでしょう。

アメリカン・インディアンは、現在のヨセミテの土地の原始的な管理者であり、今日もこの場所の世話を続けています。伝統的にアメリカン・インディアンはブラック・オークやスゲなどの自然資源に頼っていたため、食料、薬、バスケットの材料など、集団の生存に必要なバランスを保つために、定期的に草原や森林を焼かざるを得ませんでした。アメリカン・インディアンにとって、ヨセミテの象徴的な景観の多くは精神的、歴史的に深い意味を持ち、それは世代から世代へと語り継がれる口承の伝統によって守られています。

Julia Parker, demonstrates the art of acorn preparation  
in the Yosemite Museum.

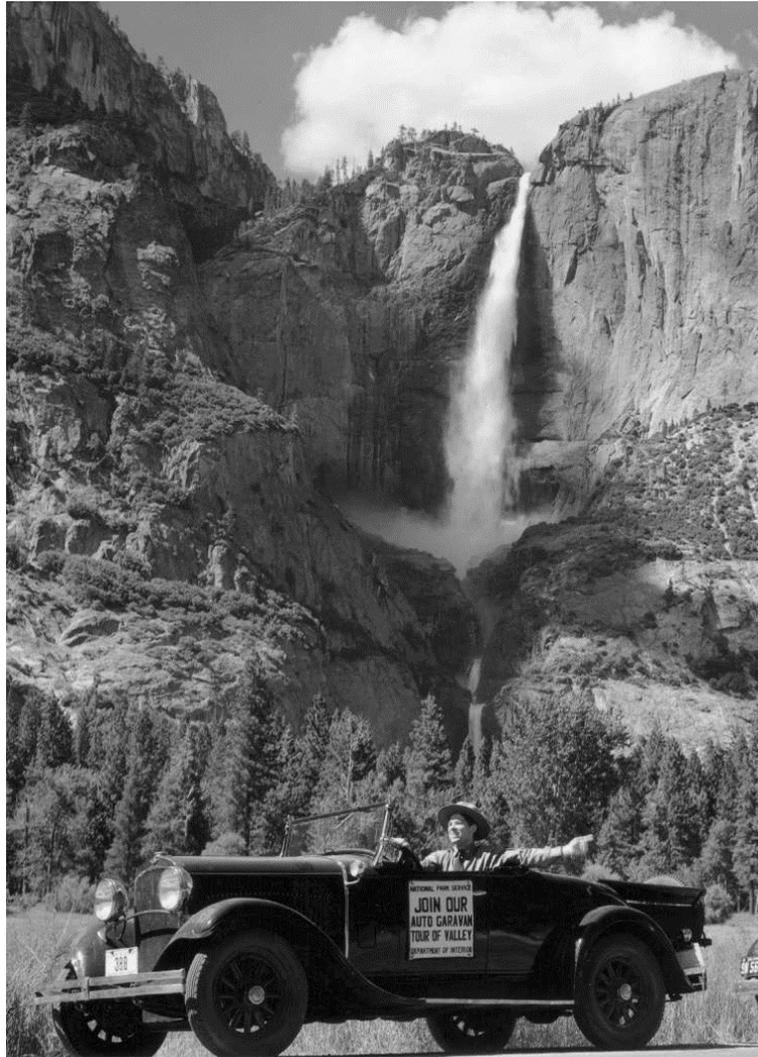
[https://www.youtube.com/watch?v=aAYDIYEckf8&list=UUwkUF9h5au\\_mbn0gXK3n8kg&index=4](https://www.youtube.com/watch?v=aAYDIYEckf8&list=UUwkUF9h5au_mbn0gXK3n8kg&index=4)



セオドア・ルーズベルト大統領とジョン・ミュア  
グレイシャー・ポイント付近（1903年5月）

9.ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブは、公共の利益のために政府によって確保され、世界的に認められた最初の風光明媚な自然地域です。ヨセミテを国立公園発祥の地とし、世界中にその考えを広めました。

ヨセミテ・バレーとマリポサ・グローブは、地理的には小さな場所ですが、地図上ではその境界を示すことができない思想を育んできました。それらは単なる場所ではなく、物理的なものだけでなく、歴史的、哲学的な旅の空間を提供しています。国にとって並外れた苦難の時代だった1864年、エイブラハム・リンカーン大統領は、南北戦争だけでなく、当時から多くの人々が「アメリカ史上最高のアイデア」と呼ぶ国立公園について、記憶に残る年にしました。



オートキャラバン、1941年6月

10. 1850年以降のヨセミテの文化的ストーリーは、観光、保護、管理、国立公園サービス倫理の発展の歴史を振り返る豊富な機会を与えてくれます。

ヨセミテを保護区に制定する際に使われた言葉やフレーズ、考え方は、その後世界中の国立公園で制定された法律にも反映されています。このように、ヨセミテは世界中の特別な場所の保護、保全、そして楽しみ方に影響を与えてきました。イエローストーン、セコイア、ヨセミテのバッファロー・ソルジャーを含む、アメリカ騎兵隊による軍事的管理は、原生地域と国立公園管理の実用的モデルを確立し、国立公園レンジャーの性格と神秘性の発展に影響を与えました。

1917年に初の女性法執行レンジャーを認可し、1921年に初の女性レンジャー・ナチュラリストを雇用することで、ヨセミテは国立公園の保護と保全に女性が重要な役割を果たせ

ることを主張し、男性優位の職業に挑戦する先頭に立ちました。

ヨセミテ・コンサーバンシー（旧ヨセミテ協会、ヨセミテ自然史協会、元々はヨセミテ博物館協会）は1923年、ヨセミテの支援、利益、促進を目的とした、NPSの最初の非営利パートナーとして設立されました。1900年代初頭のヘッチ・ヘッチをめぐる争いは、野生の風光明媚な土地対開発という、論争の的となり競合する主張をめぐる論争に、アメリカ史上初めて全米の聴衆を巻き込みました。



ヨセミテ博物館の定礎式、スティーブン・マザー（写真右）とアンセル・ホール、1924年

11.ヨセミテでは、最初のNPS設計者が公園建築のためのユニークな建築様式を開発しました。ヨセミテ博物館、アーワーニー・ホテル、レンジャース・クラブはすべて、後にNPS建築の代名詞となったラスティック・スタイルの初期の建築例です。素朴な建築様式は、NPSが市民保全隊を監督し、全国的に公園を開発したため、全米で見られるようになりました。

ヨセミテの文化的景観は、インディアンの村から鉱山小屋や製材所、果樹園や小麦畑、キャンプ場やロッジに至るまで、人間のニーズや価値観の変遷を反映しています。公園内にある歴史的なビジターサービス施設の数々は、ヨセミテが多様な社会・経済的な背景を持つ来園者のための公園であり、自然資源の保護を包含する環境の中で、希望する体験ができる公園であることを証明しています。公園の建造物の進化は、ヨセミテを訪れる人々の景観との関わり方の進展を反映しています。

Rangers' Club

<https://www.youtube.com/watch?v=zzXRgcCV7Uc>



ハーフトーム・ムーン

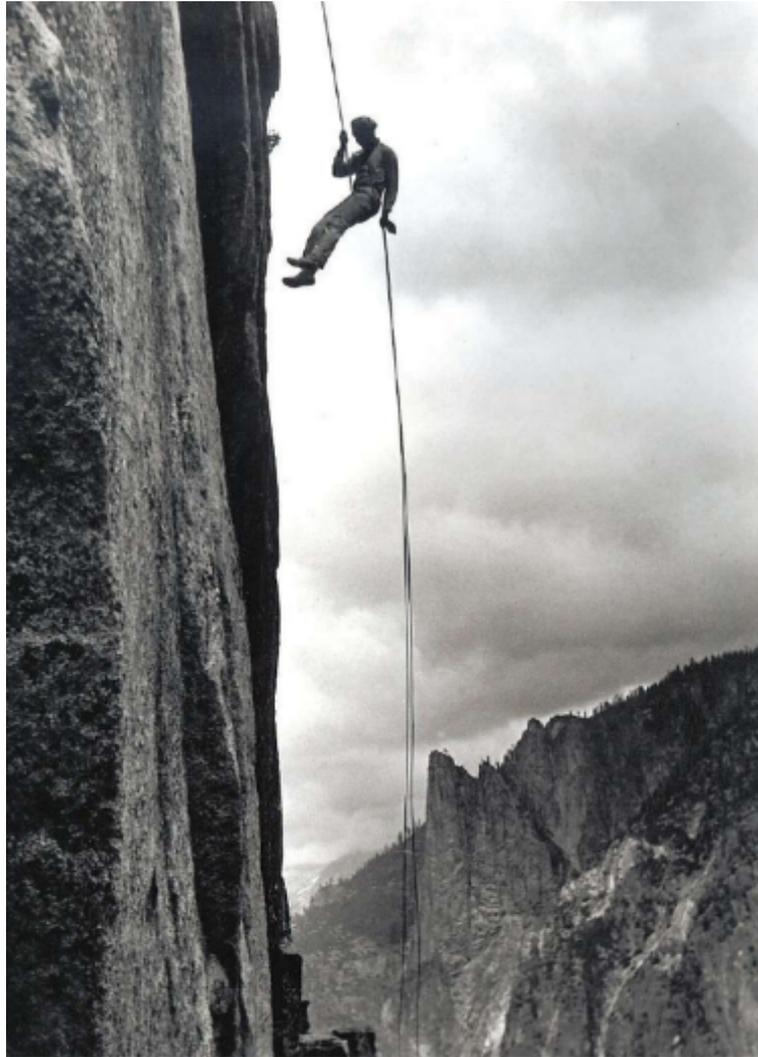
12.世界遺産への登録は、ヨセミテが人類にとって卓越した価値を持つ場所であることを世界的に認め、国際的な協力と交流の機会を提供するものです。

世界遺産に登録されたことで、世界中の人々がヨセミテとその普遍的な魅力を体験できるようになりました。訪問者の5人に1人は他国からの訪問者であり、この公園の世界的な魅力と重要性を証明しています。

世界遺産への登録は、ヨセミテとその境界を大きく越え、国内外をつなぐものです。ヨセミテはアメリカにある他の20の世界遺産と重要な関係にあり、同じく世界遺産に登録されているチリや中国の姉妹公園とも貴重なつながりがあります。

sister parks

<https://www.nps.gov/yose/learn/management/sisterparks.htm>



ロウアー・カセドラル尖塔から懸垂下降するジュール・アイヒホルン、1936年

13.クライマーとヨセミテは、歴史的、物理的、精神的につながっています。ロッククライミングは人々をヨセミテの地に没入させ、ヨセミテとの適切で持続可能な直接的なつながりを促進することができます。

キャンプ4は、ロッククライミングの成長と発展との重要な関連性が認められ、国家歴史登録財に登録されました。そしてクライミング・コミュニティに創意工夫、創造性、忍耐力を育む場を提供し、クライミングの技術やテクノロジーに多くの進歩をもたらしました。ヨセミテのクライミングは、国立公園でのハイキング、バックパック、探検、クライミングを多くの人々にさせてきた情熱と冒険心を体現しています。また、クライミングの感動的な性質は、ヨセミテのクライマーたちの活躍を見たり賞賛したりする何千人もの来園者を駆り立てます。クライミングは、探検、挑戦、冒険、競争、勇気といった人間の精神の発露で

あり、それがあある人にとっては、強い場所の感覚、精神的（あるいはピーク）な経験、自己実現、そして最終的には深いスチュワードシップの感覚につながります。

ヨセミテにおける捜索救助のうち、クライマーが関係する事故はごく一部に過ぎませんが、ヨセミテにおけるビッグ・ウォール・クライミングの出現は、世界レベルの捜索救助（SAR）部隊を生み出しました。それは今日も続いています。

=====

ここでは、ヨセミテの資源と主要なインタープリテーション・テーマに焦点を当てました。インタープリテーションは、新たな来園者を引き込み、来園者に安全な体験を提供し、資源保護とスチュワードシップを伝えることができます。このようなインタープリテーションの付加的な目的は、管理目標によって定義されます。

## ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育の管理目標

インタープリテーションと教育部門は、ヨセミテ国立公園内にある 8 つの NPS 部門（管理部門、ビジネス部門、歳入部門と並ぶ）の 1 つです。管理、施設管理、計画、プロジェクト管理、資源管理と科学、ビジターと資源保護。どの部門も公園資源のインタープリテーションを成功させるために不可欠であり、インタープリテーションは、しばしば他の部門の目標達成を助ける効果的なツールとなります。これらの部門のリーダーは、園長のスタッフと共に公園のリーダー・チームを構成します。このグループは、関連部族からの意見や相談を受けて、インタープリテーションの目標を作成しました。

ヨセミテのインタープリテーションと教育の管理目標を支える基盤は、1980 年の一般管理計画、2005 年の NPS 戦略管理計画、ヨセミテの 2020 年戦略ビジョンで確立されています。その上に、他の NPS やパートナースタッフの目標があり、今後 10 年間のすべての公園でのインタープリテーションの方向性を導いています。以下の目標は、公園の 2020 年戦略ビジョンで特定された 4 つの重点分野（来園者の体験とパートナーシップ、資源保護と教育、経営と組織、リーダーシップ）に対応し、その中で整理されています。この LRIP の提言は、公園が 2020 年戦略ビジョンで特定された 8 つのアクションプランで定められた目標を達成するのに役立ちます。

1980 General Management Plan,

[https://home.nps.gov/yose/learn/management/upload/YOSE\\_104\\_D1316B\\_-id338162.pdf](https://home.nps.gov/yose/learn/management/upload/YOSE_104_D1316B_-id338162.pdf)

## 来園者の体験とパートナーシップ

ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育は、そのために存在します：

- ・すべての人々がヨセミテの自然、文化、景観資源を理解し、楽しみ、その保護に貢献できる

よう支援します。

- ・一度も訪れたことのない人も含め、多様な観客に働きかけ、参加させます。

diverse audiences,

- ・来園者にオリエンテーションを行い、情報を提供し、個人的な支援を提供し、公園が提供する

様々な機会に対応した包括的な旅行計画を提供します。

Orient

[https://www.youtube.com/watch?v=eWRbt\\_0PGQc](https://www.youtube.com/watch?v=eWRbt_0PGQc)

- ・来園者を屋外探索に参加させ、公園内の自然と直接つながるさまざまな機会を提供します。

- ・幅広い関心を持つ観光客に、ヨセミテの自然的・文化的意義に知的・感情的に触れる機会や、適切な種類とレベルのインタープリテーション・サービスを提供します。

- ・来園者のために、安全で機能的かつ秩序ある環境を維持するために、公園管理をサポートするインタープリテーション・サービスを提供します。

- ・カリキュラムに基づいた質の高い教育プログラムを提供します。

curriculum-based education

<https://www.nps.gov/yose/learn/education/index.htm>

- ・インタープリテーション・サービスを継続的に向上させるために、公園の資源や来園者、そして来園者がヨセミテに興味を持つきっかけや障壁について継続的に学びます。

- ・ヨセミテのインタープリテーション・パートナーと継続的に協力し、情報やトレーニングを共有することで、一貫性のある、バランスのとれた、正確な情報やメッセージを公園のオーディエンスに提供します。

information and training

[https://fs.doi.gov/adfs/ls/?client-request-id=a99724a1-907e-5000-6c83-b8df7474a57e&username=&wa=wsignin1.0&wtrealm=urn%3afederation%3aMicrosoftOnline&wctx=estsredirect%3d2%26estsrequest%3drQQIARAAAnVE\\_aBNRHL6XS88mTTUUB0c50hUuee\\_ee7l3AYfLXQ4FIU2RIhYJ9y\\_NmT935q5tbEkGXQsXbkl3RQeDg3QqnXRxyJRRsnRxA4iTp3ECy6Opd\\_w8fHj4\\_f7-H5rPCqg8ir8ByzNWYLNJplcb67-Q38lm3-z-vrD6JBb77w40Yvj96MjsOQHUCEN\\_MJ2sDsGciuOw6hCLCaTbhSGhahI9b0w8HtxwQm6xUYz6Hejous1rZ1OXLcicHACwBSAcwDGqadGxZCZiVW5AhXMNFkvYaqpBqVVKq3qJi0ZsqxTxdT0KIN0oyJRaCJZZirTmcW6BIVmmkzTqkjFUipyUyoqwmbFOq4hEsGlhbCtMRqMFWHxix1o6btXC15TkHf3\\_d-](https://fs.doi.gov/adfs/ls/?client-request-id=a99724a1-907e-5000-6c83-b8df7474a57e&username=&wa=wsignin1.0&wtrealm=urn%3afederation%3aMicrosoftOnline&wctx=estsredirect%3d2%26estsrequest%3drQQIARAAAnVE_aBNRHL6XS88mTTUUB0c50hUuee_ee7l3AYfLXQ4FIU2RIhYJ9y_NmT935q5tbEkGXQsXbkl3RQeDg3QqnXRxyJRRsnRxA4iTp3ECy6Opd_w8fHj4_f7-H5rPCqg8ir8ByzNWYLNJplcb67-Q38lm3-z-vrD6JBb77w40Yvj96MjsOQHUCEN_MJ2sDsGciuOw6hCLCaTbhSGhahI9b0w8HtxwQm6xUYz6Hejous1rZ1OXLcicHACwBSAcwDGqadGxZCZiVW5AhXMNFkvYaqpBqVVKq3qJi0ZsqxTxdT0KIN0oyJRaCJZZirTmcW6BIVmmkzTqkjFUipyUyoqwmbFOq4hEsGlhbCtMRqMFWHxix1o6btXC15TkHf3_d-)

[pzLzjl0wiOljPI0z4N6Yv1Q\\_x4mtpGKb2pZEBMQk4iq2pGKCpCaWmwRCixKVTHghCL2e707T4Ec6B\\_ny4ml2z93ibnMXafB2IWI5dHPUHue79979Odv69vUVN1ko1u4\\_MdRN9UGksG4fPnxU6-7V47pRR8VnG4P10I3dbS9sD\\_Y3NtkdUkaHAjgUhfMhs8jnOZHx19EvAby8xp1mrvCh6RKY5VA24wR23-q5vrruyipDtMsiwxBQPSgTZVLJthUnQdgh2mMU8Zs1yJCs4HSs5s7J2IPpulw7aXk8sH4iDbtRwnLnatTo7XiSWt8Qko\\_h4OBw-X77U9s\\_L3MX14y8fx98nRz\\_vfspzfwE1](https://www.facebook.com/#!/pages/Yosemite-Gateway-Partners/140332869351042)

- ・ヨセミテにおけるスチュワードシップの機会を支援するため、会員増強、収入創出、使命の認識、ボランティア活動、慈善活動などを通じて、経済的持続可能性を達成するためのパートナーの取り組みを支援します。
- ・地域の歴史、ビジネス上の利益、地域社会の関心事を理解し、ヨセミテを地域の協力的なパートナーとして関与させます。

collaborative partner

<https://www.facebook.com/#!/pages/Yosemite-Gateway-Partners/140332869351042>

- ・公園のインディアン文化リエゾンと協力し、計画決定への参加から、彼らのストーリーを正確に伝えるインタープリテーション・プログラムや製品の開発まで、文化的に関連する部族や一般市民を公園管理に参加させます。
- ・公園との主要な連絡役として、質の高いパートナーシップを強化します。ヨセミテ・コンサーバンシー、ネイチャーブリッジ、シエラ・クラブとの連絡役を務めます。

## 資源保護と教育

ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育は、そのために存在します：

- ・貴重な博物館・資料館資料とその文書を取得、保存、保護し、公園の物語への理解と認識を促すために活用します。

park stories

- ・青少年を野外探検、科学教育、職業体験に参加させ、場所に対する感覚、国立公園への愛着、健康的なライフスタイル、生涯にわたるスチュワードシップ倫理を奨励するための公園の取り組みを調整し、クリアリングハウスとしての役割を果たします。
- ・来園者や職員が最小限の影響しか受けずに公園を体験できるような、インタープリテーションの機会を提供することで、公園の資源を保護・保全します。
- ・人口増加、気候変動、生息地の分断、外来種、大気質など、公園の枠を超えた広範な環境問題に、資源保護が関係していることを理解させることで、来園者に行動を起こさせます。
- ・ヨセミテと来園者の両方において、スチュワードシップ活動の機会を提供し、その意識を高めます。

## 経営と組織

ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育は、そのために存在します：

- ・来園者が正確でタイムリーな情報やメッセージをすべての公園担当者から受け取れるように、  
全ての部門、他機関、公園パートナーのヨセミテ最前線のスタッフを訓練し、教育します。
- ・園内全域での緊急事態発生時に、園内コミュニケーションを促進するリーダー的役割を担います
- ・公園のスポークスパーソンとして、必要に応じて広報スタッフを補い、ヨセミテのイベント、プロジェクト、計画について一般の人々に伝えます。
- ・公園やパートナーが制作した出版物やその他のインタープリテーション的なメディアのためのクリアリングハウスや、サポートシステムの役割を果たします。

## リーダーシップ

ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育は、そのために存在します：

- ・環境精神的リーダーとしてのヨセミテの立場を支援し、強化し、教えます。
- ・主にチリのトーレス・デル・パイネ国立公園（Parque Nacional Torres del Paine）とヨセミテの姉妹公園の連絡役として、国際的な公園の開発と協力を支援します。

sister park

<https://www.nps.gov/yose/learn/management/sisterparks.htm>

- ・地域全体およびサービス全体のプロジェクトチームや専門分野の作業部会にリーダーシップを持って参加し、地域および国のイニシアティブを支援します。

上記のヨセミテ国立公園管理目標は、国、地域、公園の戦略的計画目標を直接支援するもの

です。次は5つの目標の一部です。このような文書は、上記の目標や本計画の推奨事項に直接影響を与えます。

行動への呼びかけ：スチュワードシップと関与の第二世紀への準備（2011年）

- ・魅力的なレクリエーション、教育、ボランティア、労働体験の連続を通じて、一般市民、特に  
若者と公園との生涯にわたるつながりを開発し、育成します。
- ・誰もがアクセスできる、文化的に適切な公園の物語や体験を通して、多様なコミュニティを  
歓迎し、参加させます。

- ・教育機関としての NPS と、アメリカ人の価値観、市民参加、市民のステュワードシップを育む学習の場としての公園を強化します。
- ・最先端のテクノロジーとソーシャルメディアを活用し、大衆と効果的にコミュニケーションを図り、大衆の関心を引きます。
- ・あらゆるレベルのパートナーや教育機関との協力を通じて、NPS の教育プログラムやサービスの利点を拡大します。
- ・全米のモデルとなるような、卓越した文化・自然資源ステュワードシップ基準を達成します。
- ・地域社会と都市公園、トレイル、水路、地域の緑地を結びつけ、人々が身近で楽しいアウトドア体験ができるようにします。
- ・人々の身体的、精神的、社会的幸福に貢献する健康的な屋外レクリエーションの場の公園の利用を拡大します。

## 2005 年 NPS 戦略管理計画

- ・ミッション目標 Ia：  
自然・文化資源と関連する価値を保護し、回復し、良好な状態に維持し、より広い生態系と文化的背景の中で管理します。
- ・ミッション・ゴール Ib：  
NPS は、自然・文化資源とそれに関連する価値に関する知識の向上に貢献します。資源と訪問者に関する管理上の決定は、適切な学術的・科学的情報に基づいて行われます。
- ・ミッション目標 IIa：  
来園者は、公園施設、サービス、適切なレクリエーション機会の利用可能性、利用しやすさ、多様性、質を安全に享受し、満足します。
- ・ミッション目標 IIb：  
来園者や一般市民は、現在と将来の世代のために公園とその資源を保護することを理解し、高く評価します。
- ・ミッション目標 IIIa：  
自然・文化資源は、正式なパートナーシップ・プログラムを通じて保護されています。
- ・ミッション目標 IIIb：  
他の連邦政府、州政府、地方政府（部族政府を含む）、非営利団体とのパートナーシップを通じて、公園、オープンスペース、河川、トレイルの全国的なシステムは、アメリカ国民

に教育、レクリエーション、自然保護の恩恵を提供しています。

・ ミッション目標 IVa :

国立公園局は、その使命を達成するために、最新の管理手法、システム、技術を使用しています。

・ ミッション目標 IVb :

NPS は、他の機関、組織、個人からの取り組みや支援を通じて、管理能力を高めています。

## NPS インタープリテーションと教育ルネッサンス行動計画

・ 人々がアメリカの特別な場所と永続的なつながりを持てるようにします。アメリカの人口動態は大きく変化しています。国立公園の来園者が、豊かで多様な国の顔を反映することが決定的に重要です。誰もが国立公園で歓迎されていると感じ、国立公園のインタープリテーション的な物語や意味を反映した自分自身の遺産を目にしなければなりません。ヨセミテは、アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系アメリカ人、アジア系アメリカ人、アメリカン・インディアン、新しい移民、低所得の都市部や農村部の人々など、伝統的に十分なサービスを受けてこなかった人々に、参加を促す努力をします。

・ 新しい技術を使う。

テクノロジーの変化は、人々のコミュニケーション、学習、コミュニティの発見、自己表現、情報の発見と処理の方法に大きな影響を与えます。21 世紀の観客を完全に受け入れるために、国立公園は伝統的な手法やテクニックを放棄することなく、新しいメディアや現在のテクノロジーを使い、公園の資源をインタープリテーションしなければなりません。その機会のメニューに、新しい技術や現在使用されている技術が含まれるようにします。

### Use New Technology

<https://www.facebook.com/YosemiteNPS>

・ インタープリテーションと教育のパートナーを受け入れる。

来園者が増え続け、予算も人員も減り続ける中、公園の来園者に十分なサービスを提供する需要と必要性を満たす唯一の方法は、パートナーと緊密に協力することです。現地と遠方の両方の公園利用者のニーズに応えるために、NPS は以下のようなインタープリテーションと教育的活動を継続し、促進していかなければなりません。

・ プロフェッショナル・スタンダードを策定し、実施する。

現在開発中です。完成すれば、ヨセミテはそのプログラムを評価し、国の基準を満たすように調整することが不可欠となります。

・ 評価の文化を作る。

資源が乏しい今、何が効果的で、観客が何を求めているかに基づいて決定を下すことが重要です。これを達成するために、公園は評価の実施に着手し、システム全体やインタープリテーション分野全般で作成される評価データや調査データから学ばなければなりません。公園の管理者は、自分たちのインタープリテーションと教育プログラムの成果を検討

し、意思決定や継続的なプログラム改善のために、定期的に評価情報を収集し、利用する計画を立てるべきです。

#### NPS インタープリテーションと教育プログラム事業計画

- ・ インタープリテーションと教育のコア・ファンクション・ステートメントと運営基準を作成します。
- ・ 中核機能と運営基準を支える人員配置を約束します。
- ・ より効果的で包括的な通訳・教育実務者の目録とデータ収集システムを開発します。
- ・ パートナシップ関係を活用します。
- ・ ボランティア・コーディネーターを追加します。
- ・ 遠隔学習プラットフォームを構築します。
- ・ ピアレビュー認証プログラムを簡素化し、NPS 職員の認証を義務付けます。
- ・ インタープリテーションと教育プログラムの効果を評価します。
- ・ 国立公園局の観客を研究します。
- ・ インタープリテーションと教育テクノロジー戦略を策定します。
- ・ インタープリテーション・メディアをアップグレードします。
- ・ 情報に基づいたリーダーシップを維持し、強化します。
- ・ インタープリテーション計画に資金を提供します。
- ・ 慈善文化を創造する努力を受け入れます。

#### 太平洋西部地域のインタープリテーションと教育戦略計画 2016 :

- ・ 海洋：来園者、パートナー、地域社会を巻き込み、積極的な海のステュワードになってもらいます。
- ・ 気候変動：二酸化炭素排出量を削減し、より気候に優しくなるために、すべての人々が日常的に地球への影響を変えるよう直ちに取り組みます。
- ・ 青少年の参加：青少年を活性化するために公園の力を解放します。市民シップと科学の活性化を通じて、祖国の遺産と地球の健康を受け入れます。
- ・ 大胆かつ積極的なリーダーシップを通じて、インタープリテーションと教育のルネッサンスを受け入れ、ビジネスの戦略的変化を刺激します。
- ・ NPS100 周年：模範的な環境リーダーシップと多様なコミュニティに力を与える体験の機会を提供します。2016 年以降もアメリカの宝を大切に。

## 来園者と観客（オーディエンス）の特徴

インタープリテーションを成功させるには、聴衆を知ることが重要です。それは質の高いカスタマーサービスと優れたビジター体験を提供するための中核になります。来園者の属性、利用パターン、要望を理解することで、公園はより効果的な解釈や教育的体験を作り出し、公園の資源をより大切にすることを育むことができます。このような経営目標を達成するために重要なのは、徹底的に理解することです。最近、ヨセミテは、次のような取り組みに力を入れています。

表 1 年間来園者数

年	来園者
1998	3,657,132
1999	3,493,607
2000	3,400,903
2001	3,368,731
2002	3,361,867
2003	3,378,664
2004	3,280,911
2005	3,304,144
2006	3,242,644
2007	3,503,428
2008	3,431,514
2009	3,737,472
2010	4,047,880
2011	4,098,648

表2 月間来園者数

月	来園者
1	101,984
2	78,795
3	132,711
4	230,828
5	399,683
6	483,382
7	586,591
8	643,300
9	471,530
10	346,826
11	151,297
12	110,545

#### ビジター・スタディ

ヨセミテの資源管理科学部門、ビジター利用と社会科学（VUSS）部門は、公園訪問者のニーズと要望に関する重要な情報を提供しています。ヨセミテ公園では、来園者の多面的なニーズと、公園が提供する来園者体験を理解するために、来園者の利用調査を継続的に実施しています。これらの情報は、すでに実施されているインタープリテーションの運営をサポートする場合もあれば、新たな方向性を示す情報もあります。

2005年、VUSSはNPSビジターサービスプロジェクトと協力し、ヨセミテへの来園者調査を実施しました。2008年には冬季の利用者の追跡調査が、2009年には夏季の調査が完了

しました。これら3つの調査結果は、夏期と冬期の比較だけでなく、来園者の特徴に関して洞察できます。これらの調査は、この計画を通しての提言に役立つ豊富なデータを提供しています。

2005年夏の来園者調査報告書には、調査結果がこのように記されています。2005年7月8日から17日の間、ヨセミテ国立公園において、合計1,204通のアンケート用紙が来園者グループに配布され、そのうち781通が返送されました。回収率は65%でした (Littlejohn et al.)

来園者調査2008年冬期報告書は、2008年2月2日から10日にかけてヨセミテ国立公園で行われた調査の結果を記したものです。合計938通のアンケート用紙が来園者グループに配布され、そのうち563通が返送されました。回答率は60%でした (Le et al.)

来園者調査、2009年夏の報告書は、2009年7月8日から14日にかけてヨセミテ国立公園で実施された調査の結果をまとめたものです。合計1,219のアンケート用紙が来園者グループに配布されました。そのうち689通のアンケート用紙が返送されました。回収率は58.5%でした (Blotkamp et al.)

ヨセミテ国立公園の来園者については、以下のサマリーとグラフで紹介します。完全な調査結果は、こちらをご覧ください。

<https://home.nps.gov/yose/learn/nature/visitor-use.htm>

## 構成

### 2005年夏

2人グループが36%、3、4人グループが32%、5人以上が27%でした。来園者グループの63%が家族連れでした。年齢層は36歳から60歳が46%、15歳以下が17%でした。米国からの来園者は、カリフォルニア州(69%)、テキサス州(4%)、その他39州、ワシントン D.C.、プエルトリコからの来園者でした。海外からの来園者の内訳は、イギリス(23%)、フランス(11%)、その他35カ国です。ヨセミテ国立公園を初めて訪れた人の割合は48%。訪問者(16歳以上)の30%は学士号、25%は大学院卒、24%は大学卒でした。

### 2008年冬

来園者グループの50%は2人組、25%は3、4人組でした。来園者グループの60%は家族連れでした。来場者の59%が31歳から65歳で、17%が15歳以下でした。米国からの来園者は、カリフォルニア州からが89%を占め、その他の州からの割合は少なかった。海外からの来園者は全体の9%を占め、ドイツ、韓国、台湾、イギリスからの来園者がそれぞれ9%を占めました。その他、20カ国からの来園者が少なかった。ヨセミテ国立公園を初めて訪れた人は26%、4回以上訪れた人は55%でした。

## 2009 年夏

来園者グループの 35%が 2 人グループ、31%が 3、4 人グループでした。来園者グループの 69%は家族連れでした。アメリカからの来園者は、カリフォルニア州 (62%) が最も多く、その他の 42 州からの来園者の割合は少なかった。海外からの来園者は 全体の 25% を占め、イギリス (14%)、ドイツ (13%)、その他 31 カ国 からでした。ヒスパニック系またはラテン系の来園者は、調査期間中の訪問者の 11%を占めました。ほとんどの来園者 (88%) は白人で、アジア系は 11%でした。

## 活動内容

### 2005 年夏

ヨセミテ国立公園への訪問は、75%の来園者グループがこの地域 (公園から 50 マイル以内) に来た主な理由でした。最も一般的なアクティビティは、観光/シーニックドライブ (87%)、ビジターセンター訪問 (55%)、公園内のレストランでの食事 (49%)、日帰りハイキング (48%) でした。インタープリテーション計画に重要なその他のアクティビティは、絵を描く/絵を描く/写真を撮る (45%)、野生動物を見る/バードウォッチング (38%)、ウェイサイドの展示を見る (35%)、博物館を訪れる (27%)、レンジャー主導のプログラムに参加する (8%) でした。

### 2008 年冬

来園者の 67%は、冬のヨセミテの景色を見たのが、公園の訪問を決定する最も一般的な要因でした。今回の訪問で最も多かったアクティビティは、観光/シーニック・ドライブ (84%)、写真撮影/ペインティング/ドローイング (73%)、日帰りハイキング (35%) でした。

### 2009 年夏

ヨセミテ国立公園への訪問は、来園者グループの 79%がこの地域 (公園から 50 マイル以内) に来た主な理由でした。この訪問で最も一般的なアクティビティは、風景鑑賞 (93%)、シーニックドライブ (64%)、日帰りハイキング (54%)、公園内のレストランでの食事 (46%)、ビジターセンター訪問 (45%) でした。そのほか、野生動物観察/バードウォッチング (43%)、ビジターセンターの書店での買い物 (37%)、創作活動 (26%)、博物館見学 (24%)、レンジャーが指導するプログラムへの参加 (13%)、自然研究 (7%) などが、インタープリテーション計画の重要な活動として挙げられていました。

レンジャー主導のプログラムに参加した来園者グループは、2005 年と 2008 年の調査で違いは見られませんでした (注: 調査では、NPS レンジャー主導のプログラムと公園パートナー主導のプログラムは区別されておらず、多くの来園者はこの 2 つを区別していません)。2005 年夏と 2008 年冬の調査では、来園者の 8%がこうしプログラムに参加しました。

レンジャーが主導するプログラムの全体数は夏の方が多かった。こうしたプログラムに参加する来園者の割合は、季節や年によって一貫しています。2009年夏には13%に増加しました。

## サービスと施設

ビジター・サービスと施設の利用、重要性、質に関しては、それぞれの質問に回答した来園者グループの数に注目することが重要です。以下の例では、"N"はその質問に回答した個人または来園者グループの数を表しています。

### 2005年夏

最も利用された情報サービス／施設（708のビジターグループ）は、公園のパンフレット／地図（90%）でした。「非常に良い」と「良い」の合計が最も高かった情報サービス／施設は、レンジャーによるウォーク／トーク（91%、N=51）でした。最も利用されたビジター・売店サービス／施設（726のビジターグループが回答）は、公園内の方向指示標識（91%）でした。「非常に重要」と「非常に重要」を合わせた割合が最も高かったサービス／施設は、キャンプ場（95%、N=111）、公園内の宿泊施設（95%、N=104）、道路（95%、N=610）でした。

### 2008年冬

最も利用された情報サービス／施設（訪問者487グループ）は、公園のパンフレット／地図（80%）であった。「非常に良い」と「良い」の合計が最も高かった情報サービス／施設は、屋内展示（91%、N=108）とレンジャーによるウォーク／トーク（91%、N=32）でした。

最も利用された来園者・売店サービス／施設（551のビジター・グループによる）は、道路（90%）でした。最も利用されたサービス／施設は、道路（90%）でした。

### 2009年夏

最も利用された情報サービス／施設は、公園のパンフレット／地図（夏期87%）でした。最も利用されたビジターおよび売店のサービス／施設は、道路（91%）と公園内の方向指示標識（89%）でした。ほとんどのビジターグループ（92%）は、ヨセミテの施設、サービス、レクリエーション機会の全体的な質を「非常に良い」または「良い」と評価しました。全体的な質が「非常に悪い」または「悪い」と評価した訪問者グループは2%未満でした。

## 訪問前の情報源

表3 ソース	来園前の情報源 (%)		
	2005 夏	2008 冬	2009 夏

過去の訪問	57	74	50
口コミ	45	41	46
NPS 公園ウェブサイト	40	52	51
旅行ガイド、書籍	38	23	44
地図、パンフレット	34	30	39

来園者の調査を見ると、旅行前に NPS の公式ウェブサイトを利用する人が増えています。2005 年に NPO 公園ウェブサイトを利用したと回答した来園者は 40%でした。2008 年には 52%、2009 年には 51%が NPS のウェブサイトを利用しています。驚くことではありませんが、この増加は、国内におけるコンピュータの使用率の全体的な増加と一致しています。より多くの人インターネットを利用できるようになるにつれ、旅行やレクリエーション情報のためのウェブ利用は増え続けるでしょう。

#### 訪問期間

##### 2005 年夏

来園者の 45%が 8 時間以上、28%が 4 時間以内、22%が 5、6 時間滞在しました。

##### 2008 年冬

来園者の 50%が 6 時間以上、29%が 4～5 時間、9%が 2～3 時間滞在しました。

##### 2009 年夏

滞在時間が 24 時間未満のグループの平均滞在時間は 7.2 時間。24 時間以上滞在したグループの平均滞在日数は 3.9 日でした。

#### 訪問学習方法の比較

ほとんどの学習方法は、夏と冬の来園者間で一貫しています。ただし、2005 年夏 (31%)の方が、2008 年冬 (24%) よりもトレイルガイドを用いた人が多かった。2005 年と 2008 年のアンケートでは、屋外展示の質問に若干の修正が加えられました。2005 年と 2009 年では、「トレイルサイドの展示物」(来場者グループの 24%と 31%)と「ロードサイドの展示物」または「屋外の展示物」(来場者グループの 25%と 27%)の両方が、「情報サービスと施設利用」に含まれていました。2008 年のアンケートでは、「屋外展示物」(11%)のみでした。

表 4	来園者にとって、今回の学習で最も重要な情報-2005 年夏のみ
-----	---------------------------------

トピック	人数
熊の安全性	65
歴史	51
地質学	42
公園の保護	39
自然の美	35
セコイア	27
混雑	20
自然の美	18
サイン等の情報	15
公園の大きさ	15

表 5	今回の訪問における学習方法 -2005年夏のみ-	
情報源	48	
公園の新聞、地図、パンフレット	43	
旅行ガイド、ツアーブック	36	
インターネットのウェブサイト	34	
道案内	31	
印刷されたトレイルガイド	20	
屋内展示	19	
A/V プログラム	16	
レンジャーによるガイドプログラム	12	

表 6	今後の訪問で希望する学習方法 -2005年夏と2008年冬のみ-	
情報源	2005年夏 (%)	2008年冬 (%)
インターネットのウェブサイト	59	52

その他の印刷物	57	67
旅行ガイド、ツアーブック	52	62
印刷されたトレイルガイド	46	-
路傍の展示	41	59
レンジャーによるガイドプログラム	36	-
レンジャーの動き	34	-
a/v プログラム	34	27
屋内展示	24	51

表 7 情報源	今後訪問する際に希望する インタープリテーション・プログラム	
	2008 年冬 (%)	2009 年夏 (%)
印刷物	67	68
セルフガイド・メニュー	62	45
屋外展示	59	43
公園のウェブサイト	52	64
屋内展示	51	32
トレイルサイドの展示	-	48
映画、スライドショー	27	34
特別イベント	26	16
リビングヒストリー、コスチューム・インタープリテーション・プログラム	26	16
来場者が利用できる電子メディア、デバイス	14	-

双方向なコンピューター・プログラム・ツアー	10	-
ボランティアの機会	10	9

表 8 情報源	利用したビジター・インフォメーション・サービスと施設トップ 10		
	2005 夏 (%)	2008 冬 (%)	2009 夏 (%)
公園のパンフレット、地図	90	80	87
ヨセミテガイド	78	62	73
シャトルバス・サービス	48	27	43
パークスタッフのサポート	38	45	41
NPS のウェブサイト	36	39	40
トレイルガイド	33	24	34
沿道・屋外の展示	25	11	27
室内博物館の展示	24	23	23
トレイルサイドの展示	24	—	31
書店での販売商品	15	—	24

表 9 サービス/設備	来園者にとってサービスと施設の重要性 非常に重要と答えた割合		
	2005 夏 (%)	2008 冬 (%)	2009 夏 (%)
シャトルバス	81	82	84
公園のパンフレット、地図	78	76	84
トレイルガイド	77	83	91
NPS のウェブサイト	74	81	83
パークスタッフのサポート	74	79	83
レンジャーによるウォーキング	70	78	71
ヨセミテガイド	67	70	78
沿道・屋外展示	56	56	62
トレイルサイドの展示	55	—	60
室内博物館の展示	47	53	45
書店での販売商品	34	28	42

表 10	情報サービスや施設に対する「非常に良い」「良い」の割合		
	2005 夏 (%)	2008 冬 (%)	2009 夏 (%)
サービス/設備			
レンジャーによるウォーキングやトーク	91	91	91
公園のパンフレット、地図	85	87	85
ヨセミテガイド	84	88	84
室内展示	-	91	82
野外展示	-	83	74
ロードサイドの展示	81	-	-
トレイルガイド	80	79	78
トレイルサイドの展示	78	-	81
NPS ウェブサイト	75	75	80
博物館の展示	68	-	-

表 11	2005 年夏、 訪問したトップ 10
サイト	(%)
ヨセミテ滝	70
ブライダルベール滝	61
ビジターセンター	58
ハーフドーム	33
マリポサ・グローブ	31
トウオルムメドウズ	30
ワオナ	26
グレイシャー・ポイント	23
ハイシエラ	22
ハッピーアイルス	22

表 12	2008 年冬、 訪問したトップ 10
サイト	(%)
ヨセミテ滝	59
ビジターセンター（バレー）	55
ブライダルベール滝	43
バジヤールパス	31
ミラー湖	16
インド文化博物館	15
ハーブドーム	11
パイオニアヨセミテ歴史センター	8
グレイシャー・ポイント・ロード	7
バーナル滝	7

表 13	2009 年夏、 訪問したトップ 10
サイト	(%)
ヨセミテ・バレー	70
ヨセミテ滝	59
ビジターセンター（バレー）	56
ブライダルベール滝	56
グレイシャー・ポイント	44
エルキャピタンメドロー	43
トウオルムメドロー	38
マリポサ・グローブ	36
ワオナ	33
バーナル滝	28

表 14	2005 年夏、最初に 訪問したサイト
サイト	(%)
ブライダルベール滝	28
ビジターセンター（バレー）	14
ヨセミテ滝	9
マリポサ・グローブ	8
ワオナ	7
トウオルムメドー	6

表 15	2005 年夏 来園者のコメント
コメント	数
より多くのインタープリテーション・プログラムと活動 のインタープリテーション	27
より多くのインタープリテーション的な素材	18
案内標識の改善	16
インタープリテーション標識インフォメーションの改善	15
公園のアクティビティに関する情報を増やす	14
他言語での情報提供	6
環境教育の推進	6
ルールや規則に関する標識の追加	5
子供向けプログラム／アクティビティの提供	3
ウェブサイトの改善	3
適切で親切な標識	2

表 16	2008 年冬 来園者のコメント
コメント	数
公園での教育の推進	5
天候に関する情報の提供	4
レンジャーによるプログラム	3
アメリカ・インディアンの歴史	3
標識の設置	2
公園に関する映画の上映	2
日々のアクティビティに関する情報をウェブサイトで更新する	2
地図がひどい（パークマップ、トレイルマップ）	2
スキーやスノーシューのコースにもっと標識が必要	2

表 17	2009 年夏 来園者の声
コメント	数
レンジャー主導のプログラムを追加	5
公園のウェブサイトを改善する	5
より多くの情報と動物に関する教育	4
レンジャーによるハイキングの追加	3
ポッドキャスト/iPod ツアーの追加	2
推奨旅程の作成	2
スペイン語でのガイドツアーの提供	2
環境への影響についての教育	2
原野でのキャンプに関する教育	2
青少年向けプログラムの拡充	2
トレイルマップの改善	2
ビューポイントに地図を設置する	2

他言語での情報提供	2
若い世代に公園を守ることを教える	2
家族向けの借り物競走には失望した	2

表 18	ボランティア統計 (2009-2010,2003)		
	2010	2009	2003
ボランティア数 (個人、グループ、イベント)	8,493*	9,441	1,982
寄付時間	170,323 1	54,147	112,713
グループ数	138	117	84
ドロップインまたはイベント参加者/時間 (フェイスリフト、HaPY など)	1,621/6,557	1,218/6,671	n/a
100 時間以上のボランティア	362	272	206
ネイチャーブリッジボランティア/時間	3,164/4,294	4,610/5,398	n/a

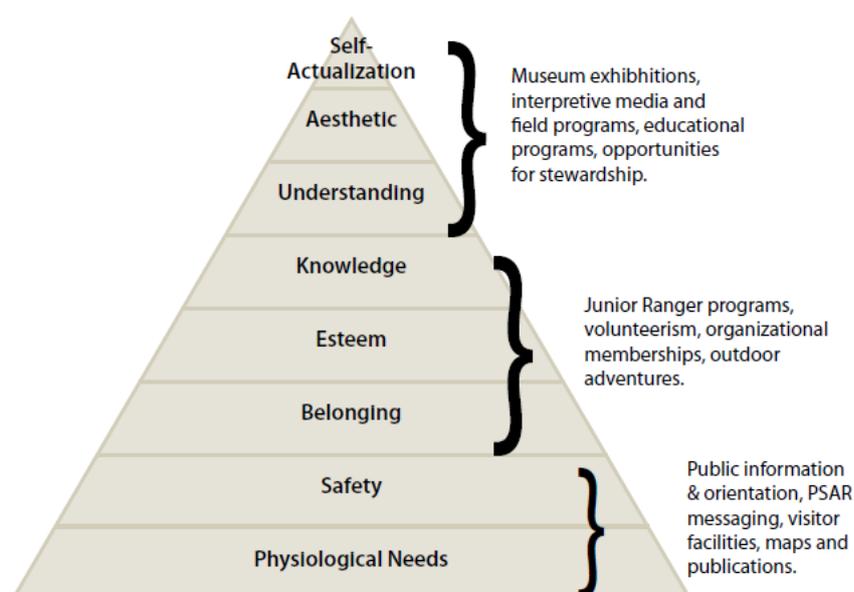
ヨセミテ・コンサーバ ンシー ボランティア/ 時間	362/18,632	313/16,258	n/a
部門別時間数			
インタープリテーシ ョン	27,381	26,610	22,560
保護	34,924	15,576	30,218
保守	28,161**	44,767	8,082
資源部	17,430	18,939	14,365

\* 報告方法の変更により、この数字は減少し、より正確なものとなった。

\*\* 以前は寄付奉仕活動に含まれていた Youth Conservation Corps と California Conservation Corps を除く。

### 来園者のニーズ

現地での調査や来園者に関する知識に加え、人間の行動やニーズに関する科学も数多く存在します。インタープリテーションと教育に最も応用できる理論は、アブラハム・マズロー(1943)によって開発された「マズローの欲求階層説」は、最も一般的に知られています。ヨセミテのインタープリテーションと教育のパートナーは、このような人間の欲求を満たすために、さまざまな方法で努力しています。ヨセミテのインタープリテーションと教育のパートナーは、さまざまな方法でこれらの人間の欲求を満たそうと努力しています。



Abraham Maslow

## 観客体験の目標

来園者の特性やニーズに関する知識と公園管理の目標が組み合わさることで、望ましい来園者体験が生まれます。来園者は、ヨセミテ国立公園において、個人的な価値や自分自身との関連性を求めています。

ビジター・エクスペリエンス・ゴール（観客体験の目標）は、ヨセミテ国立公園がそのインタープリテーションと教育的なプログラムを通して、最も促進したい基本的なビジター・エクスペリエンスの機会を記述したものです。来園者に特定の体験を要求することはできませんが、ヨセミテ国立公園では、利用できるようにすべき重要な体験を特定しました。

ここでは、「オーディエンス（観客）」と「ビジター（来園者）」の両方の用語を使用しています。これは、国立公園を訪れることのない人々を含め、可能な限り幅広いオーディエンスにリーチすることが私たちの目標だからです。

公園を訪れる人々は、次のような機会に恵まれるでしょう：

- ・楽しみとインスピレーションを見つける。
- ・ヨセミテならではの場所の感覚を体験する。
- ・公園の資源に関連する意味を知的、感情的に結びつける。

- ・公園のストーリーを開発し、伝えることに参加する。
- ・ヨセミテでアウトドアと直接つながる。
- ・ゲートウェイ・コミュニティ、公共メディア、代替フォーマット、多言語、多様なテクノロジーを通じて、ヨセミテの情報に簡単にアクセスできる。
- ・アクセシビリティ、安全性、現在の状況などに対応した、効果的で包括的かつ多様な旅行計画を実施する。
- ・公園のすべての公式情報源から、正確でバランスの取れた一貫性のある情報とメッセージを受け取る。
- ・年齢、民族、性別が多様で、NPS レンジャーと公園パートナーの両方を含む公園のインタープリテーション・スタッフと交流する。
- ・国立公園はアメリカ国民の所有物であることを理解する。
- ・安全な方法で公園を体験する。
- ・大自然の真髄を体験する。
- ・公園の意義や解釈のテーマを理解し、それにつながる。
- ・ヨセミテで歓迎されていると感じ、信頼感と帰属意識を持つ。
- ・様々なレベルや能力を持つ人々が公園を利用できるようにする。
- ・ヨセミテが持続可能なステュワードシップのリーダーとしてどのように運営されているかを理解する。
- ・訪問前、訪問中、訪問後の個人的、組織的なステュワードシップ活動（ボランティア、資金、政治、会員）に積極的に参加する。
- ・持続可能な方法で公園を体験する。
- ・探究と発見に基づく学習に参加し、自らの興味に基づく。
- ・最近の科学的研究成果に触れ、そのような研究が公園や自分自身の生活にどのように関連しているかを学ぶ。
- ・かけがえのない資源を確実に保護しながら、教育的で楽しい博物館環境で本物の芸術品を体験する。
- ・ヨセミテに現存するアメリカ・インディアンの人々と、彼らの継続的な生活様式と伝統を理解し、認める。

上記に加え、地域住民、スタッフ、部族、その他の公的な利害関係者は、以下の機会を得られます：

- ・管理者、プランナー、インタープリター、教育者を含む公園の代表者と定期的に交流し、公園の計画や管理の決定に参加する。
- ・ヨセミテの保護につながり、貢献する。
- ・特にストーリーが共有されるコミュニティの場合、インタープリテーション的なプログラムや製品の開発に関与する。

## 従業員と来園者の安全

NPS は、自然・文化資源の保護や来園者へのサービスとともに、職員に安全な職場環境を提供するよう努めています。ヨセミテのインタープリテーションと教育部門は、公園のパートナーとともに、健康で生産的な従業員が公園の最も重要な資源であり、従業員の安全が公園の最も重要な価値であることを示すことで、従業員の安全にプラスの影響を与えることができます。従業員と管理者は、安全を全ての意思決定プロセスや全体的な計画サイクルに組み込むことで、従業員の健康と安全の継続的な改善への揺るぎないコミットメントを示さなければなりません。従業員は、危険な行動をすべて排除し、職務上の危険を管理しなければなりません。効果的かつ適切な安全／労働衛生教育を定期的に行うこと。文書化された安全規則と慣行は、全従業員に理解され、遵守されなければなりません。ヨセミテ国立公園での従業員の負傷の大半は、スリップや転倒による緊張／捻挫、持ち上げによる背中の負傷、ウルシや虫刺されによる皮膚の炎症、「ストライク・バイ」負傷（落下物）です。

多くの来園者は、ヨセミテ国立公園を訪れている間に起こるかもしれない安全上の問題に対する備えがありません。ほとんどの人は、自動車に乗ることが公園内で最も危険な行為であることに気づいていないかもしれません。公園の野生動物は、近づくと攻撃的になることがあり、怪我につながることもあります。風光明媚な川や滝は、心の準備ができていない来園者を、怒りに満ちた状況に引き込む可能性があります。サイクリングは、公園内のレク

リエーションや交通手段として人気がありますが、サイクリングロードやトレイルがほとんどないため、特に経験の浅い人には危険です。多くの来園者は、交通量の多い高速道路を自転車で走ることの危険性を認識しておらず、適切な装備を着用し、自転車のエチケットや法律、安全な乗り方を守るなど、適切な予防措置を取らないことが多い。

暑さに関する個人的な問題（日焼け、熱中症、熱中症）、野生動物（クマ、昆虫、マウンテンライオン）、天候、川や湖の状況など、アウトドア関連の安全に関する基本的な情報と理解が必要です。インタープリテーションと教育部門とそのパートナーは、すべてのインタープリテーション・プログラムで来園者の安全に関するメッセージを提供することで、来園者の安全を向上させることができます。これらの安全メッセージには、そのインタープリテーション・イベントに関連する具体的な危険や、水の危険（特に川の横断や滝の危険）、野生生物、熱ストレス、その他公園の環境に見られる危険に関する一般的な情報が含まれます。また、出版物、パンフレット、ビデオを通して自然環境に見られる危険を取り上げ、来園者が使用する場所での危険の発見や軽減を行うことで、来園者の安全意識を高めることができます。公園の安全担当官との緊密な協力関係は、最新の情報を提供するだけでなく、安全関連の来園者教育のための資金協力も随時行っています。

Employee and Visitor Safety

<https://www.youtube.com/watch?v=hzdIIXEC0Ns>

## インタープリテーション・パートナーの役割と責任

ヨセミテの管理はNPSが全体的な責任を負っていますが、このようにダイナミックで複雑な公園をひとつの機関や組織で完全にサポートすることはできません。ヨセミテ・ルネッサンスのような地元の非営利団体との継続的なパートナーシップ、UC マーセッドとの新たな関係、そしてヨセミテ・クライミング・アソシエーション、バランスド・ロック・ファウンデーションなどの新しい非営利団体を通して提供される機会を拡大し続けています。ヨセミテ・クライミング・アソシエーション、バランス・ロック・ファウンデーションなどの新しい非営利団体との新たな関係は、将来的な協力のためのエキサイティングな可能性を生み出します。

以下は、ヨセミテのインタープリテーションと教育部門と、長年にわたるインタープリテーション・パートナーの役割です。

### 国立公園局（NPS）

NPS のインタープリテーションと教育部門は、公園全体のインタープリテーションと教育プログラムの全体的な調整を担当しています。NPS は、インタープリテーション開発プログラムを通じて、NPS が開発したインタープリテーションと教育の国家基準に基づいて、

このプログラムを実施し、評価する責任があります。この部門は 5 つの部門と記念日プログラムで構成されています。

## 教育

<https://home.nps.gov/yose/learn/kidsyouth/index.htm>

教育部門は、カリキュラムに基づいた教育を行い、文化的に多様な生徒や、公園の環境教育プログラムに参加する生徒の数を増やすことに尽力しています。当支部は学区や大学、地域社会、青少年プログラムと協力し、あらゆる背景を持つ学生や青少年がヨセミテを訪れ、スチュワードシップ、公有地の遺産、ヨセミテの自然と文化の歴史について学ぶ機会を確保するよう努めています。当支部はまた、環境、科学、文化のリテラシーを向上させ、畏敬の念と所有者としての誇りをもたらし、次世代に公園や公有地の仕事を考えてもらうことを目指しています。

## フィールド・オペレーション

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/guide.htm>

フィールド・オペレーション部門は、個人的なインタープリテーション・サービスや公園のパートナーや部門との協力を通じて、来園者が公園資源の意味と知的・感情的なつながりを形成する機会を促進することで、公園のスチュワードシップを育みます。また、ヨセミテとその周辺地域に関する個人的なオリエンテーションや情報を提供することで、資源保護と訪問者の満足度、経験、安全性を高めます。支部の機能には、ガイド付きウォーキングやトーク、トラムツアー、ビジターインフォメーションデスク、数日間のバックカントリーツアー、非公式ツアー、イブニングプログラムなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

## インタープリテーション・サービス

<https://www.nps.gov/yose/learn/photosmultimedia/index.htm>

インタープリテーション・サービス部門は、非個人的なサービスを通じて、公園のスチュワードシップを育み、訪問をより充実させるための情報を提供し、公園内の普遍的なアクセシビリティのプログラムを計画し、明確で一貫した視覚的メッセージを保証します。この部門は、出版物、展示物、道案内、ビデオ、ポッドキャスト、ウェブサイトのコンテンツとデザイン、プロジェクト管理、計画、資源管理、科学、インタープリテーションと教育部門の他の部門との協力的なチームワークを通じて、この業務を遂行しています。

## 博物館

<https://www.nps.gov/yose/learn/historyculture/yosemite-museum.htm>

博物館部門は、博物館コレクション、アーカイブコレクション、研究図書館で構成され、

ヨセミテの歴史を記録する自然標本、人類の文化的遺物、記録を保存する役割を担っています。博物館部門は、展示や出版物、研究への利用、最先端の技術による保存と記録を通して、これらのコレクションを一般の人々に楽しんでもらい、理解してもらうことを目的としています。ヨセミテ博物館のプログラムは、物、標本、資料の収集、保護、保存、公開、利用を行います。また、理解を助け、知識を深めるために、物、標本、アーカイブ、写本などのコレクションを収集、保護、保存、公開、利用しています。コレクションは資源管理、研究、インタープリテーション・プログラムにおいて重要な役割を果たし、公園の自然・文化資源のデータベースとして機能しています。また、博物館の強みを生かした協力活動を通じて、公園のプログラムやパートナーをサポートしています。

#### ボランティア・プログラム

<https://home.nps.gov/yose/getinvolved/volunteer.htm>

ボランティア・プログラムは、ヨセミテをはじめとするヨセミテ以外の場所で、一般の人々に有意義なスチュワードシップ体験を提供しています。このプログラムでは、すべての公園部門やパートナーと協力し、プログラムの目的を達成するためにボランティアが労働力を提供できる分野を特定します。ボランティア・プログラム・オフィスは、トレーニング、方針策定、地域、国レベルでのボランティア・プログラムのリーダーシップへの参加を通じて、ボランティアとその監督者に後方支援と運営支援を提供します。ボランティアは、個人またはグループとして、また特別なイベントの際に、スチュワードシップの機会に参加します。プログラムはパートナーと緊密に協力し、ボランティアの機会を促進します。

#### アニバーサリー・プログラム

インタープリテーションと教育部門の担当副チーフは、ヨセミテ・アニバーサリー・プログラムの監督責任者でもあり、プログラム・コーディネーターを中心に、様々な公園スタッフ、公園パートナー、売店、団体、周辺地域と協力し、以下の記念日を成功裏に祝います：ヨセミテ補助金 150 周年（2014 年）、原生自然法 50 周年（2014 年）、ヨセミテ国立公園 125 周年（2015 年）、国立公園局 100 周年（2016 年）。それぞれの記念日は、魅力的な記念イベント、解釈的・教育的プログラム、特徴的なプロジェクトを通して称えられます。

#### パーク・コンセッショナーズ（2012 年）

アンセル・アダムス・ギャラリー（TAAG）

<https://www.anseladams.com/>

アートを創作することは、自然の光景が持つ「魔法のような」要素を表現することです。アンセル・アダムス・ギャラリーは、インタープリテーション・プログラムを通して、カメラ、ブラシ、ペンなど、芸術的なメディアの道具の使い方を人々に教え、ビジョンと創造的な表現を開発しています。このプロセスは、自然の光景を愛し、その愛情を他の人々に伝える

る能力を養うことをサポートします。

ヨセミテのデラウェア・ノース・カンパニー パークス&リゾート インタープリテーション・サービス部 (DNC)

<https://www.travelyosemite.com/>

DNC Interpretive Services は、直接的、間接的な方法で来園者と資源との間に個人的なつながりを作り、公園のステewardシップを鼓舞するために、テクニックを駆使します。この部門は、教育者、公園のパートナーとしての役割を担っています、NPS の使命を守りながら、教育者として、公園のパートナーとして、そしてコンセッショナーのインタープリテーションの模範として、その役割を受け入れています。DNC のゲスト・レクリエーション部門はすべて、この理念を共有しています。DNC が対象としているのは、各施設のゲストです。小さなお子様 (6 歳未満) をお連れのご家族、特別なイベントやグループ、有料での体験の幅を広げたい方などです。DNC は、以下のような特別なインタープリテーション付きイベントにおいて、主導的なパートナーとしての役割を果たしています。また、アースデーなどの特別なインタープリテーション的なイベントにも協力しています。

シエラ・クラブ (SC) -ルコント・メモリアル・ロッジ

<https://www.sierraclub.org/education/leconte/>

ヨセミテ渓谷初の常設ビジターセンター、読書室、集会所として設計されたルコント・メモリアル・ロッジは、自然科学、保護、歴史、保全のためのプログラムを提供するセンターとして設立されました。今日、ヨセミテ国立公園を訪れる人々に無料でプログラムを提供するという伝統を守りながら、ルコント・メモリアル・ロッジは夏の間、自然保護、ヨセミテ、歴史、保全に焦点を当てた教育プログラム、展示、図書室を提供しています。

ワイルドリンク

<https://wildlinkprogram.org/>

ワイルドリンクの使命は、十分な教育を受けていない 10 代の青少年に原生地域での一連の体験を提供することで、彼ら自身の生活や地域社会の生活を向上させる力を与え、多様なカリフォルニア市民が原生地域という不朽の資源について情報を得て、投資し、献身的に取り組むようにすることです。ワイルドリンクはネイチャーブリッジ、ヨセミテ国立公園、シエラの国有林の革新的パートナーシップです。2000 年以来、ワイルドリンク・プログラムはシエラの原生地域をその入り口に住む多文化な人々に開放するために活動しています。原生地域と公有地の関連性と恩恵を、全てのアメリカ人に示すために活動しています。

ヨセミテ・コンサーバンシー

<https://yosemite.org/>

2010年、ヨセミテの2つの主要な資金調達／支援組織であるヨセミテ協会とヨセミテ基金が合併し、ヨセミテ・コンサーバンシーとなりました。ヨセミテ協会は、ヨセミテ国立公園とシエラ・ネバダ山脈について学び、楽しみ、体験する機会を人々に提供するために1923年に設立された非営利会員制組織です。ヨセミテ基金は、ヨセミテ国立公園を保護、保全、向上させるプロジェクトに広く民間の資金とリソースを提供し、「卓越したマージン」を提供しました。新組織はこの2つの組織の長所を組み合わせ、新しい使命とビジョンを掲げています。

#### 使命：

ヨセミテの未来に貢献することが私たちの情熱です。私たちは人々を鼓舞し、ヨセミテ国立公園の資源を保護し、観光客を豊かにするプロジェクトやプログラムを支援します。公園の資源を保護し、訪問者の体験を豊かにするプロジェクトやプログラムを支援するよう人々を鼓舞します。

#### ビジョン：

私たちは、ヨセミテがかけがえのない資源であり、素晴らしい象徴であり続けるよう、現在と未来の世代に卓越性と永続的なつながりを提供するプロジェクトとプログラムに資金を提供します。

ヨセミテ・コンサーバンシーの事業の中で、公園のインタープリテーションと教育プログラムに最も密接に関係しているのは、プロジェクト、小売、出版、教育、ボランティア、プログラムです。インタープリテーションと教育部門のチーフは、ヨセミテ・コンサーバンシーとの上級公園リエゾンであり、プロジェクト強化委員会の投票権を持たないメンバーです。また、教育プログラム委員会、小売・出版委員会の定期的な会合にも出席しています。

ネイチャーブリッジ（旧ヨセミテ・インスティテュート）

<https://naturebridge.org/>

ネイチャーブリッジは、自然の教室で教育的なアドベンチャーを提供することで、自然界との個人的なつながりと、自然界を維持するための責任ある行動を促すことに専念しています。ネイチャーブリッジのプログラムは、体験型学習と探究型学習を基盤としており、参加者は国立公園を通して自然界に関する個人的な知識と、地元コミュニティでスチュワー

ドシップに積極的に参加するためのスキルを身につけることができます。ネイチャーブリッジは、ヨセミテ国立公園の6年生から12年生を対象とした、カリキュラムに基づいた教育プログラムを提供する唯一最大の団体であり、世界最大級の野外教育プログラムとして高い評価を受けています。

#### ヨセミテ・ルネッサンス (YR)

<https://www.yosemiterenaissance.org/>

ヨセミテ・ルネッサンスの目標は、伝統的な表現を単に模倣するのではなく、真摯な現代アーティストの作品を一堂に集め、ヨセミテの過去の世代のアーティストたちとの連続性を確立することです。景観を主要なインタープリテーションの媒体として、また環境保護への刺激として、視覚芸術を再確立する手助けをします。YRは、今後もヨセミテの現代的でインタープリテーション的な展示する巡回展を毎年開催していきます。また公園のためのアーティスト・イン・レジデンス・プログラムも運営します。美術館は毎年展示会を主催し、公園の常設展示のためにレジデンス・アーティストからの寄付を受け入れることができます。公園のパーマネント・コレクションに寄付することもできます。

#### ヨセミテでインタープリテーションと教育プログラムを提供するその他の団体

ヨセミテのインタープリテーションやビジター・エクスペリエンスを充実させています。これらの団体の中には、現在NPSと協定を結んでいない団体もありますが、貴重なニッチサービスを提供し、インタープリテーション・マネジメント・チームの積極的なメンバーとなっています。例えば、Balanced Rock FoundationとYosemite Climbing Associationはそのようなパートナーです。全米のパートナーはヨセミテのボランティア・プログラムで重要な役割を果たしています。学生自然保護協会、アメリカン・ハイキング協会、パシフィック・クレスト・トレイル・アソシエーションなどがあります。さらに、多くの民間ツアー会社に使用許可と特別使用許可を通じて、ヨセミテでのインタープリテーションと教育的な体験を提供しています。NPSはこのようなツアー会社の要求に応じて、これらの提供者にインタープリテーション資料、ガイドンス、トレーニングを提供します。

#### ヨセミテのインタープリテーション・マネジメント・チーム

上記の団体と、NPSのビジネス・収益管理部門、資源管理・科学部門、ビジター管理部門の代表者と収入管理、資源管理と科学、来園者と資源保護（原生地域）の各部門の代表者とともに、インタープリテーション・マネジメントチーム（IMT）を構成しています。このチームは毎月会合を開き、ヨセミテの多様なインタープリテーション業務を計画、実施しています。プログラム、出版物、イベントなどの新しいアイデアがグループに持ち込まれ、議論と承認が行われます。このプロセスは共同作業ですが、NPSが主導機関であり、インタープリテーションと教育部門のチーフがIMTに関する最終的な承認権を持ちます。IMTは、

この協力体制をより活用し、IMT の効率性を高めるために、2009 年から業務スケジュールを実施する予定です。

IMT は毎月第 3 火曜日に会合を開きます。会議は、関心のある全ての関係者に開かれています。一般的なビジネス (GB) に加え、特別な焦点を当てる月もあります：

- 1 月 (特別イベント-春)
- 2 月 (夏期プログラム計画)
- 3 月 (季節ごとのトレーニング計画)
- 4 月 (GB)
- 5 月 (GB)
- 6 月 (GB)
- 7 月 (出版企画)
- 8 月 (GB)
- 9 月 (半日または全日リトリート-年次実施計画)
- 10 月 (GB)
- 11 月 (GB)
- 12 月 (GB)

まとめると、ヨセミテのインタープリテーションと教育プログラムの基盤は、公園の目的、意義、テーマ、目標、利用者の理解を共有するパートナーシップにあります。これらの考えを総合的に考慮し、ヨセミテのインタープリテーションを、次の時代へ進むためのビジョンと体制を構築します。

## 付録 A：

コア・プランニング・チームとコンサルタント

ジュリア・ウォッシュバーン (ファシリテーター/コンサルタント)

トム・メデマ (インタープリテーション・教育課長)

ジョナサン・ベイレス (博物館支局長)

ショーナ・ポトッキー (教育課長)

メアリー・クライン (インタープリテーション・サービス部部长)

ビクトリア・メイツ（フィールド・オペレーション部次長（元））  
ヘザー・ブース（ボランティア・プログラム担当課長）  
アンディ・フリステンスキー（バレー・インタープリテーション運営スーパーバイザー）  
ボブ・ローニー（マスター・インタープリター）  
アドリアン・フリーマン（ライター／編集者）  
カサンドラ・ハーディ（周年記念コーディネーター）  
ドナ・シソン（パブリック・アウトリーチ&エンゲージメント）  
キャロル・ニッパー（資源管理と科学）  
クリスティーナ・ライランズ（ネイチャーブリッジ（元 NPS プランニング））  
ジャネット・サイモンズ（インディアン文化リエゾン/コンプライアンス（旧））  
クラウディア・ウェルシュ（アンセル・アダムス・ギャラリー（旧））  
エミリー・ジェイコブス（DNC パーク&リゾート・アット・ヨセミテ（旧））  
デビッド・ガイ（ヨセミテ・コンサーバンシー（旧））  
ピート・デバイン（ヨセミテ・コンサーバンシー）  
マイケル・ビロドー（ネイチャーブリッジ）

## 付録 B：

NPS インタープリテーションと教育プログラムのロジックモデル  
（注：拡張されたロジックモデルは DVD データベースにあります）

**National Park Service Interpretation and Education Program Logic Model**

*Premise: If the NPS offers high quality interpretive, curriculum-based, and informational programs to a diverse public, the public will have better quality of life and will be better equipped to help preserve and protect the National Park System for future generations.*



第 2 部

| Long-Range  
Interpretive Plan  
*for*  
Yosemite National Park

PART TWO:  
RECOMMENDATIONS FOR YOSEMITE'S  
INTERPRETIVE AND EDUCATIONAL  
PROGRAMMING

YOSEMITE NATIONAL PARK  
FEBRUARY 2012



Ranger Carla Saldana, a former UC Merced Intern, uses a sequoia cone to connect visitors to the big trees story.

カリフォルニア大学マーセッド校の元インターンであるレンジャーのカーラ・サルダナは、セコイアの円錐を使い、訪問者と巨木の物語を結びつけています。

## ヨセミテは世界を感動させる

### 公園のビジョン

国境や世代を越えて活動するヨセミテとそのスタッフは、自然保護とスチュワードシップへの世界的な取り組みを鼓舞しています。

### インタープリテーションと教育のビジョン

ヨセミテのインタープリテーションと教育は、パートナーシップに根ざした大胆なリーダーであり、国立公園の意味と価値をすべての人々に伝え、保全とスチュワードシップを前例のない世界的な規模で鼓舞しています。

献身的なパートナーとともに作成された以下の提言は、ヨセミテの将来に対する集合的なビジョンの達成を目指すものです。各提言は、この計画を通して説明された公園の目的、テーマ、目標、問題に取り組み、実施することで、使命とビジョンを達成するように設計されています。また、これらの提言は、NPS のインタープリテーションと教育プログラムのロジックモデルを前提としています。

NPS が質の高いインタープリテーション・プログラム、カリキュラムに基づくプログラム、情報提供プログラムを多様な市民に提供すれば、市民は生活の質を向上させ、保全と保護に貢献する能力を身につけることができます。そして、将来の世代のために国立公園システムを保全し保護するための、より良い能力を身につけることができます。



ナショナル・ジュニア・レンジャー・デーにおいて、ヨセミテの野生動物をインタープリテーションするレンジャー、カレン・ケインズ



2008年8月、ヨセミテインタープリテーションと教育部門

## インタープリテーションに影響する問題

どのようなインタープリテーション・プログラムも孤立した状態で運営されているわけではありません。このセクションでは、公園のインタープリテーションと教育プログラムを理解し、計画し、実施するための背景を説明します。課題には、サービス全体のイニシアティブ、重要な資源の問題、人員や資金に関する問題、従業員の能力開発、技術の活用、近隣コミュニティのダイナニズム、これまで声にならなかったステークホルダーの懸念などが含まれます。

### 持続可能な資金調達

NPS とパートナー団体は、ヨセミテのインタープリテーション・サービスに対する資金を維持、あるいは増加させるために、個人的にも集団的にも、創造的かつ集中的な戦略を必要とします。資金調達は、プロジェクト単位でも、長期的に提供される必要がある中核的なインタープリテーション・サービスやスタッフに対しても、長期的に提供される必要があります。

2010 年 NPS 予算スコアカード測定値報告書によると、ヨセミテでは次のようになっています。ヨセミテでは来園者一人当たり 0.44 ドルを通訳サービスに費やしています。(PWR) 平均は 5.59 ドル、全国平均は 5.80 ドルです。また、ヨセミテのインタープリテーションと教育の基本資金が総公園基本支出に占める割合は、5.79%です。PWR の平均は 19.18%、サービス全体の平均は 21.33%です。サービス全体の平均は 21.33%です。その結果、ヨセミテの来園者一人当たりのインタープリテーションへの接触は、0.70 (PWR では 1.02、サービス全体では 1.19) であり、来園者の満足度は 89%と、PWR (93.07%) およびサービス全体の平均 (94.65%) を下回っています。しかし、ヨセミテは来園者の理解度において、PWR と比較して非常に高い評価(100%)を得ています。(PWR(86.24%)、サービス全体(87.51%)と比較すると、ヨセミテは 100%と非常に高い数値を示しています)。他の PWR や NPS の公園ユニットと同等の資金があれば、大きな可能性があることを示唆しています。

インタープリテーションと教育部門は、資金調達パートナーシップや、レクリエーション料金、OFS、コンセッションフランチャイズ料金の効果的な提案を通じて、主要プログラムと優先事項のための持続可能な資金を求める企業家精神を持ち続けなければなりません。

### アニバーサリー

公園の目的、資源の意義、インタープリテーションのテーマ

ヨセミテ渓谷とマリポサ・グローブは、公共の利益と景観美の鑑賞のために政府によって確保され、世界的に認められた最初の風光明媚な自然地域です。ヨセミテは世界中に広まった国立公園構想の発祥地となりました。

2014 年は、国立公園構想の発端となったヨセミテ補助金 150 周年にあたります。このイ

ベントと 2016 年の NPS100 周年記念が組み合わさることで、世界中の国立公園の発展におけるヨセミテの役割を伝えるエキサイティングな機会が生まれます。

また 2014 年は原生地域法の 50 周年でもあります。現在、ボールド・マウンテンの北からヨセミテのタイオガ・パスまで、道路が通っていません。ヨセミテ国立公園の 95% 近くが原生地域として指定されています。2015 年にヨセミテは国立公園として 125 周年を迎えます。

2016 年、NPS は創立 100 周年を迎えます。2011 年、NPS のジョン・ジャービス局長は、「行動への呼びかけ」を発表しました。これは、関連性、教育、スチュワードシップ、そして専門家としての卓越性に焦点を当てたものです。この文書で呼びかけられている行動項目は、NPS100 周年とその先に向けて、ヨセミテのインタープリテーションと教育の活動を支援し、推進するものです。

Wild and Scenic River Plans

<https://www.rivers.gov/>

## 野生景観河川計画

Tuolumne および Merced 野生景観河川総合管理計画は、河川のインタープリテーション、資源管理、開発、開発の方向性を定めるものです。計画により、これら 2 つの重要な河川回廊におけるインタープリテーション、資源管理、開発、利用者能力、訪問者の体験、その他多くの方向性が決定されます。このような取り組みへの参加は、計画を成功させるために極めて重要であり、来園者が公園の資源とつながる機会を確保することが最も重要です。NPS のインタープリテーションと教育部門は、各計画のコア・チームに最低 1 名の代表者を置いています。

## Yosemite Conservancy

<https://yosemite.org/>

ヨセミテ・アソシエーション (YA) とヨセミテ・ファンド (YF) が合併し、ヨセミテ・コンサーバンシーが設立され、インタープリテーションと教育プログラムにおけるパートナーシップの新しい機会が生まれました。ヨセミテ基金は、展示、出版物、ポッドキャスト、ウェイサイド、博物館、ボランティアなど、個々のプロジェクトに支援を提供しました。ヨセミテ公園は新組織と協力して、これらの重要な各分野での資金援助を継続し、連邦政府の予算の見通し厳しくなることが予測される中、運営およびプログラム支援の新たな分野を模索することが不可欠です。

## 住宅と交通

適切な住居と交通手段は、公園の管理と職員にとって継続的な課題です。創造的で代替可能な住居と交通手段を模索し、推進しなければなりません。

## スタッフの配置

NPS の季節職員は、センチアル・イニシアティブの資金援助により最近増加しているが、フルタイムの常勤職の数は減少しており、一時帰休の対象職は最低 6 ヶ月間しか基本給が支給されません。基幹サービスとスタッフをカバーするためには、オペレーションズ・フォーミュレーション・システム (OFS) またはその他のベースアップが不可欠です。住宅や長期的な資金調達の課題を念頭に置くと、人材の確保と維持が問題となります。さらに、長時間の通勤と燃料価格の高騰は、職員にさらなるストレスを与えます。

## パートナーシップの拡大

ヨセミテはインタープリテーション・パートナーシップのリーダー的存在です。特にゲートウェイ・コミュニティにはもっと多くの機会があります。他の連邦政府機関、部族、州、地方政府、大学、団体などとのパートナーシップを促進し、正式なものにすることで、公園が人々と資源を結びつけ、地域のスチュワードシップを育む能力をさらに強化することができます。

## ワホガのインディアン・カルチャー・センター

ヨセミテ・バレーに、関連部族による新しいインディアン・カルチャー・センターが建設することで、ヨセミテの先住民族とのつながりを深めることができます。また彼らの伝統的な文化的知識と生活様式を継承することができます。

部族、インディアン・カルチャー・プログラム、インタープリテーションとサービス部門間の協力は、ヨセミテ渓谷を訪れる観光客に、ヨセミテの伝統的な文化的知識と生活様式を伝えるために必要です。インタープリテーションと教育部門の代表がワホガのコア・チームの一員です。

## コンセッション契約

公園の主要な売店業者に対する新しい売店契約は、この計画の実施後、数年以内に発行される予定です。その前に、インタープリテーションと教育部門の意見が必要であり、インタープリテーションと教育に関する懸念や可能性を、目論見書やその後の契約書に反映させる必要があります。また、この部門は落札者と密接に協力し、インタープリテーション・プログラムと運営の継続性を確保する必要があります。

## 地球規模の気候変動

人為的な気候変動が現実のものとなり、地球の生態系に深刻な影響を及ぼす可能性があることは、科学的に明らかです。このような変化は、ヨセミテ地域の自然と文化資源に影響を与え続けるでしょう。NPS は最近、自然資源スチュワードシップ&サイエンス部門の自

然資源プログラムセンターに地球気候変動オフィスを設立しました。

気候に優しい公園プログラムはまた、気候変動問題のコミュニケーションに焦点を当てたサブグループを持つ、サービス全体の気候変動運営委員会を結成しました。ヨセミテのインタープリテーションと教育プログラムとパートナーは、地域、国、世界の環境資源保護に関連する地球規模の気候変動への取り組みを続けていきます。

## 公園計画、プロジェクト管理、訴訟

Park Planning, Project Management, and Litigation

<https://parkplanning.nps.gov/parkHome.cfm?parkID=347>

ヨセミテは管理が複雑な場所です。多様な自然・文化資源や訪問者の利用はもちろんのこと、一般の人々は公園の保護やアクセスに情熱を燃やし、多くの人々がヨセミテに深い関心を寄せています。時に、これらの情熱は公園の管理方法と直接対立する価値観を表しています。このような要因が重なると、論争や訴訟にまで発展することがあります。公園のインタープリターは、公園計画の取り組みについて、一般市民や公園スタッフに伝える重要な役割を担っています。公園は、インタープリテーションと教育部門がすべての公園計画の重要な要素であることを保証し、プロジェクト情報が徹底的で、バランスが取れていて、容易に理解できるようにしなければなりません。インタープリターはバランスの取れた方法で訴訟を解釈しなければなりません。一方で問題に対する公園の立場を伝えることは避けなければなりません。

最後に、インタープリターは公園の計画や管理の決定に一般市民を参加させるよう努めなければなりません。そうすることで、作成される決定が包括的なものとなり、一般市民の間でより高いレベルで受け入れられ、理解されるようになります。

## 自然現象と緊急事態

ヨセミテでは、洪水、落石、火災などの大きな自然現象に見舞われることがあります。これらの出来事は、学習と理解の絶好の機会を生み出します。公園のインタープリターや教育者はまた、訪問者の安全、緊急情報、事故管理において重要な役割を果たしています。NPSとそのパートナーは、インタープリテーション・スタッフが搜索救助や火災管理などの活動に参加し、訓練できるよう、部門間の事故協力を引き続き促進しなければなりません。

Flooding

<https://home.nps.gov/yose/learn/nature/flooding.htm>

Rockfall

<https://www.nps.gov/yose/learn/nature/rockfall.htm>

## 社会科学的研究

Social Science Research

<https://home.nps.gov/yose/learn/nature/visitor-use.htm>

インタープリテーションと教育の効果を測定することは非常に難しく、観客の情報はインタープリテーションの成功に不可欠です。インタープリターは、インタープリテーションや教育の成果に関する社会科学研究を奨励し、支援し、参加しなければなりません。さらに、インタープリターは研究結果を常に把握し、インタープリテーション・プログラムやプロジェクトを向上させるためにこの情報を利用しなければなりません。

## 大学とのパートナーシップ

カリフォルニア大学マーセッド校の新キャンパスとのパートナーシップは、ヨセミテ国立公園にエキサイティングな機会を提供します。カリフォルニア大学マーセッド校は、多様な学生を抱える世界トップクラスの大学システムの一部として、研究、学習、教育、利害関係者の参加、インタープリテーションのための新しいプログラムをすでに生み出しています。ワウオナのシエラ・ネバダ研究所、UC マーセッドキャンパスのウィルダネスセンター、その他現在進行中の主なパートナーシップの努力により、このパートナーシップは新世紀において最もダイナミックで進歩的、そして将来有望な教育パートナーシップのひとつとなっています。カリフォルニア州立大学フレズノ校 (Fresno State) など、地元の大学との新たなパートナーシップの機会を模索し、追求すべきです。

## 環境教育センター

NPS とネイチャーブリッジは、現在クレーン・フラットにある環境教育センターに代わり、ヘネスリッジに新しい環境教育センターの開発を開始しました。この新しい施設は、NPS とネイチャーブリッジが青少年に世界クラスの教育機会を提供する能力を強化します。新しいセンターでの NPS のプレゼンス向上と利用は、両組織にとって優先事項です。

## 新しいミュージアム施設と活動

### New Museum Facility and Activities

<https://www.nps.gov/yose/learn/historyculture/yosemite-museum.htm>

ミュージアム・プログラムでは、保存基準を満たし、現在および将来の利用者のニーズに対応するために、施設のアップグレードの必要性を評価してきました。NPS エルポータルの複合施設に新しい施設を建設する計画について、プログラムの評価と価値分析が完了しました。インディアン文化展示と隣接するミュージアムギャラリーは、公園のインタープリテーション・プログラムの重要な要素であり、ヨセミテ博物館のコレクション施設の移転は、これらの密接に結びついた運営に影響を与えます。さらに、新たなコレクションの取得、出版、研究、パートナーシップにより、革新的な展示、特別活動、祝典の機会が提供されます。博物館部門は、公園の博物館コレクションへの一般公開、鑑賞、理解を促進するために、部門および外部パートナーと緊密に協力し続けなければなりません。

## プログラム上のアクセシビリティ

### Programmatic Accessibility

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/accessibility.htm>

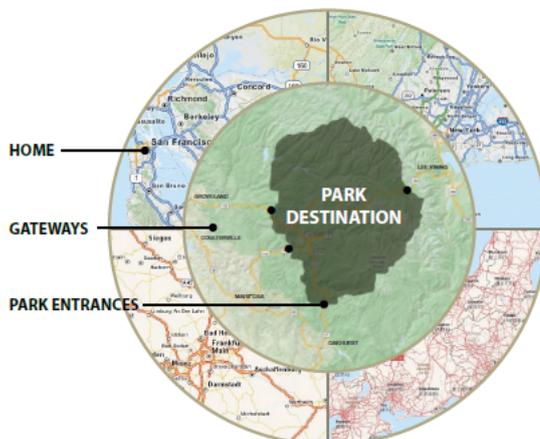
インタープリテーション・サービスへの普遍的なアクセスは、これらのサービスを公衆に提供するすべての団体にとって優先事項でなければなりません。プログラム、出版物、オーディオビジュアルシステム、ウェブページなどは、ユニバーサルアクセスに確実に対応できるように、オンライン化する前に内部で評価されなければなりません。全ての人が全てのサービスを直接利用できるわけではないことは認めますが、誰もが何らかの方法で公園のストーリーにアクセスできるべきです。

## 地域イニシアテチブ

かつての国立公園は、その境界の中だけで問題を検討し、統治されていました。ヨセミテは現在、シエラネバダ・ネットワークというより大きな地域のパートナーとして機能しています。これは、公園の管理決定が公園周辺の地域社会に影響を与えるのと同様に、外部からの問題も公園の管理能力に影響を与えるということを理解しているからです。インタープリテーションは、ネットワークパーク、他の政府機関、ゲートウェイ・コミュニティ、公園間の対話を促進する重要な役割を果たしています。

## 推奨のパターン

ヨセミテ国立公園が提供するインタープリテーションと教育サービスは、同心円のパターンに当てはまります。外側の限界は、家庭や地域コミュニティで人々にどのようにリーチするかです。次の輪は、ヨセミテのゲートウェイ・コミュニティに住む人々が公園に向かって移動する際に、どのようにリーチするかを表しています。次に、ヨセミテの入り口と境界線に焦点を当てたインタープリテーションと教育の取り組みです。最後に、ヨセミテ国立公園の主要な訪問地で、サービスとスチュワードシップの機会を提供する中央のリングがあります。インタープリテーションと教育的な製品とサービスに関する以下の推奨事項は、このモデルに基づいています。



### 1. 地元コミュニティでの体験

ヨセミテでの体験は、多くの場合、地元コミュニティから始まります。基礎のセクションで引用した最近の研究によると、公園のウェブサイト、地図/パンフレット、友人/親戚/口コミの3つが、将来の訪問に関する公園情報を得るための最も望ましい方法です。公園は、旅行計画情報の提供に加え、学校での教育プログラム、インタープリテーション・ポッドキャスト、出版物、地域展示、バーチャル・ボランティア活動などを通じて、資源につながる機会を提供する必要があります。

ここで扱う主な観客体験の目標は以下の通り：

- ・公園の資源に関連する意味を知的、感情的に結びつける。
- ・アクセスのしやすさ、安全性、現在の状況、スチュワードシップの機会などを考慮した、効果的、包括的、かつ多様な旅行計画を立てる、などに取り組む。
- ・公園のあらゆる公式情報源から、正確でバランスのとれた一貫性のある情報とメッセージを受け取る。
- ・最新の科学的研究成果に触れ、公園や自分自身の生活との関連性を学ぶ。
- ・公共メディア、代替フォーマット、多言語、適切なテクノロジーを使って、ヨセミテの情報に容易にアクセスできる。
- ・ヨセミテでのボランティア活動や、自宅でのヨセミテ支援活動に関する情報を得る。

## 1.1 教育プログラム

### 1.1.1. 教師-レンジャー-教師プログラム

- 1.1.1.1. カリフォルニア州内の十分な教育を受けていない学区と協定を結び、経験豊富な教師を季節限定のパークレンジャーとして活用する。

### 1.1.2. ウェブ

- 1.1.2.1. 公園で行われている継続的な調査に生徒を参加させる。
- 1.1.2.2. ヨセミテへのアクセスの橋渡しをしながら、学生のコミュニティで提供できる適切なプログラムを開発する。
- 1.1.2.3. 新しいテクノロジーを活用し、国内および世界中の教室に放送する。

## 1.2. インタープリテーション・サービス

### 1.2.1. 出版物

- 1.2.1.1. 公園の2つの主要出版物、ヨセミテマップ&ガイド（ユニグリッド）とヨセミテガイドの持続可能な資金を確保する。ゲートウェイ・コミュニティで資金調達のパートナーを探し、NPS ワシントンサポートオフィス（WASO）と協力して料金規定をより柔軟にする。

Guide

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/guide.htm>

- 1.2.1.2. 上記の出版物や、一般や管理者の関心のある主要な資源に関するファクトシートの開発を継続する。
- 1.2.1.3. すべての公園出版物をオンラインで利用できるようにする。
- 1.2.1.4. ヨセミテ環境保護協会の出版物プログラムのための外部資金を引き続き求める。
- 1.2.1.5. 公園の記念日コーディネーターと協力し、ヨセミテの記念日に人々が

有意義に参加し、また記念日活動を促進するような、ユニークな記念日出版物を作成し、普及させる。

1.2.1.6. ヨセミテガイドを含む適切な公園出版物で記念日を紹介する。

## 1.2.2. ウェブ／オーディオビジュアル

1.2.2.1. 資源管理・科学（RMS）ビジター利用・社会科学部門と協力し、ウェブユーザー調査を設計・実施する。

1.2.2.2. ポッドキャストを現在提供されているものだけでなく、旅行計画、道案内、オリエンテーション、情報、ボランティアプロフィール、その他の通訳などにも拡大する。

1.2.2.3. 資源管理と科学のページを引き続き拡大し、RMS チーフが優先的に追加コンテンツを作成する。

1.2.2.4. インタープリテーションと教育に関連するウェブコンテンツの開発においてパートナーを支援し、旅行計画の「ワンストップショッピング」を目指す。

1.2.2.5. ヨセミテ・コンサーバンシーのウェブサイトの拡張を継続し、ウェブストア、ウェブカメラ、自然史ブログ、ボランティア情報、ネイチャーノートのエントリーを含むコンテンツの充実を図る。

1.2.2.6. デジタル形式で、より多くのインタープリテーション的・情動的製品を開発し、利用可能にする。

1.2.2.7. ソーシャル・ネットワーキング・サイト、ブログなどの新しい手段を通じて、ウェブ上でのコンタクトを拡大する。

1.2.2.8. モバイルアプリケーション製品の情報不足を特定し、ヨセミテ・コンサーバンシーと協力し、来園者のエクスペリエンスを向上させる新しいアプリケーションを開発する。

1.2.2.9. 開園記念日コーディネーターと協力し、開園記念日の計画とプロモーションを行う。

1.2.2.10. ウェブ技術を活用し、記念事業の企画セッションや活動に人々が参加できるようにする。

1.2.2.11. この景観を保護する豊かな歴史に関する事実を、公園のウェブサイトの「Did You Know」に統合する。

1.2.2.12. 記念展示の特集やオンライン版のアーカイブ保管庫など、公園のウェブサイト全体で既存の歴史ページを充実させる。

1.2.2.13. ソーシャルメディアサイトの活用に参加し、今後の記念日に関する魅力的で刺激的な事実を提供する。

1.2.2.14. 記念日ブログを定期的に管理する。

1.2.2.15. 来たる記念日の意義について、ポッドキャスト・シリーズを開発する。

1.2.2.16. ビデオグラファーと協力し、ヨセミテの記念日に焦点を当てたネイチャーノートシリーズを開発する。

### 1.3. ミュージアム・プログラム

#### 1.3.1. 出版物

1.3.1.1. コレクションやアーカイブのアクセスガイドを作成・出版する。

1.3.1.2. ヘイデイ・プレス社などと協力し、書籍の出版や再版を行い、博物館の所蔵品の写真をポストカードやカレンダー、その他の印刷媒体として提供する。博物館、公文書館、図書館のコレクションから、印刷物、映画、その他のメディアにイラストを提供し続ける。

1.3.1.3. 博物館、公文書館、図書館所蔵の印刷物、フィルム、その他のメディアに挿絵を提供するための標準業務手順書（SOP）を発行する。

#### 1.3.2. ウェブ

1.3.2.1. ポッドキャスト、展示、デジタル画像コレクション、ヨセミテの膨大なコレクションへの個人的なアクセス方法を含むオンラインコンテンツを通じて、コレクションへのアクセスを向上させる。

1.3.2.2. WASO ミュージアム・マネージメント・プログラムのウェブカタログに、代表的な収蔵品のデータと写真を提出する。

1.3.2.3. オンライン・アーカイブ・オブ・カリフォルニアに提出するコンテンツを作成する。

### 1.4. パーソナルサービス&広報室（PIO）

#### 1.4.1. カスタマーサービス

1.4.1.1. PIO の負担を軽減し、より良いカスタマーサービスを提供するため、ビジター・資源保護課（原生地域）が管理する原生地域情報電話回線の追加を支援する。

1.4.1.2. 公園情報電話（209/372-0200）の充実を積極的に推進し、スペイン語やその他の言語によるコンテンツを作成する。

#### 1.4.2. スタッフの配置

1.4.2.1. ウェブ以外の旅行計画や一般的な公園情報の主要なクリアリングハウスとして、広報室の持続可能な資金援助と人員配置を継続する。

#### 1.4.3. 特別イベント

1.4.3.1. 地域の文化行事、パートナー行事、その他の特別な要請を支援するための人員配置を継続する。

## 1.5. ボランティア・プログラム

### 1.5.1. 募集とコミュニティ形成

- 1.5.1.1. 旅行計画の一環として、公園でのボランティアの機会について学べるワンストップのウェブポータルを作成する。
- 1.5.1.2. 団体と個人の両方のボランティア募集のための求人告知と応募プロセスのデジタル化と合理化を継続する。
- 1.5.1.3. ボランティアコミュニティポータルを開発し、過去と未来のボランティア活動を紹介し、過去のボランティアと公園をつなぐ役割を果たす。
- 1.5.1.4. 地域の団体（ボーイスカウトや学校など）に働きかけ、新たなボランティアパートナーシップを構築する。
- 1.5.1.5. 一般市民が自宅でヨセミテに奉仕できる「バーチャル・ボランティア」の機会を開発する。

## 2. ゲートウェイ・コミュニティの人々へのアプローチ

大小さまざまな地域コミュニティが、ヨセミテ体験へのゲートウェイとして機能しています。交通手段、宿泊施設、情報、食事、その他のサービスを提供するこれらのゲートウェイは、訪問者の体験にとって非常に重要です。このようなコミュニティとのパートナーシップにより、訪問者の体験を向上させる機会は無数に存在します。

ここで取り上げるビジター・エクスペリエンスの目標は以下の通りです：

- ・公園資源に関連する意味を知的、感情的に結びつける。
- ・ゲートウェイ・コミュニティ、公共メディア、代替フォーマット、多言語、適切なテクノロジーを通じて、ヨセミテの情報に容易にアクセスする。
- ・アクセスのしやすさ、安全性、現在の状況などを考慮した、効果的、包括的、かつ多様な旅行計画を立てることができる。
- ・公園のすべての公式情報源から、正確でバランスの取れた一貫性のある情報とメッセージを受け取る。
- ・公園の意義とインタープリテーション的なテーマを理解し、それに共感する。
- ・来園前、来園中、来園後の個人的、組織的なスチュワードシップ活動（ボランティア、資金、政治、メンバーシップ）に積極的に参加する。
- ・管理者、プランナー、インタープリター、教育者を含む公園の代表者と定期的に交流し、公園の計画や管理の決定に参加する。
- ・ヨセミテの保護に貢献する。
- ・ゲートウェイ・コミュニティの住民のために、有意義なボランティアの機会を体験する。
- ・インタープリテーション・プログラムや製品の開発に参加する。

### 2.1. 教育プログラム

#### 2.1.1. 新しい教育イニシアティブ

- 2.1.1.1. ゲートウェイ・コミュニティで「2016年クラス」を採用し、NPS100周年を通してヨセミテとNPSとのつながりを毎年深める。

- 2.1.1.2. Ansel Adams Gallery および Yosemite Conservancy と連携し、地元  
の青少年を対象としたアートコンテスト「Gateway Expressions」  
を試験的に実施する。
- 2.1.1.3. 写真を通じて青少年と公有地を結びつける Udall Foundation との  
パートナーシップ「Parks In Focus」を取り入れる。
- 2.1.2. インターンシップとサービス・ラーニング
  - 2.1.2.1. 公園内や関連する地域プロジェクトやプログラムでのインターンシ  
ップのために、地元の高校生を募集する。
  - 2.1.2.2. ゲートウェイ生を対象とした奉仕学習の機会を開発する。
  - 2.1.2.3. 地域や国の募集を通じて青少年のインターンシップの機会を増やす。
- 2.1.3. 人員配置
  - 2.1.3.1. ゲートウェイ・コミュニティとセントラルバレーでのプログラムを支  
援する教育スタッフの増員のための持続可能な資金を特定する。セ  
ンテニアル・イニシアティブの資金を、GS-7 教育技術者 2 名の雇  
用に振り向ける。
- 2.1.4. フレズノ・ディスカバリー・センター
  - 2.1.4.1. ヨセミテの資源に関連した環境教育を強化するため、フレズノのディ  
スカバリーセンターとの協力を継続する。
- 2.1.5. パートナーシップ
  - 2.1.5.1. 十分なサービスを受けていない青少年や文化的に多様な青少年に手  
を差し伸べ、ヨセミテで質の高いプログラムや体験を提供するため、  
団体との強力なパートナーシップを構築し続ける。
- 2.2. インタープリテーション・サービス
  - 2.2.1. 出版物
    - 2.2.1.1. 地元の商工会議所やビジタービューローを通じてヨセミテガイドを  
配布し、到着前に訪問者に情報を提供する。
    - 2.2.1.2. ヨセミテガイドの持続可能な資金調達を、レクリエーション料金プロ  
グラム（印刷）およびプライマリーパークパートナーの資金（デザ  
イン／編集）を通じて継続する。
    - 2.2.1.3. ゲートウェイのビジターセンターや小売店で入手できるヨセミテ・コ  
ンサーバンシーの出版物や会員向け資料を増やす。

## 2.2.2. ビジターセンター

- 2.2.2.1. オークハースト、マリポサ、グローブランドにおいて、スタッフ、ボランティア、展示物、オーディオビジュアルプログラム、ヨセミテ保護区の小売業を含む総合的なビジターセンターの開発を促進する。そのような施設の運営に貢献し、利益を得ることのできるパートナー機関や団体を特定する。
- 2.2.2.2. ヨセミテ保護区と協力し、これらの省庁間施設の開発に関する資本キャンペーン戦略を策定する。
- 2.2.2.3. モノ・ベイスン・シーニック・エリア・ビジターセンターにおける米国森林局とのパートナーシップを継続する。料金徴収業務の拡大を継続し、バスの往来や訪問者の往来をこの場所に誘導する。
- 2.2.2.4. インヨー国有林との協力により、リー・バイニング・キャニオンで新しいビジター情報の機会を開発する。
- 2.2.2.5. ブリスバーク・ビジターセンターの土地管理局(BLM)に援助を提供し、展示品開発の技術的専門知識を提供する。

## 2.2.3. 新しいメディア

- 2.2.3.1. Roadside Heritage Scenic Science プロジェクトの開発において、Eastern Sierra Institute for Collaborative Education と協力する。

## 2.3. ミュージアム・プログラム

### 2.3.1. 芸術

- 2.3.1.1. ヨセミテ・ルネッサンスおよびマリポサ郡と協力し、コンペティション、展示、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムを通じて、ヨセミテの芸術を促進・奨励する活動を継続する。

Yosemite Renaissance

<https://www.yosemiterenaisance.org/>

### 2.3.2. 地域社会とのパートナーシップ

- 2.3.2.1. マリポサ郡歴史協会、北部マリポサ郡歴史センター、フレスノ・フラッツ歴史協会など、郊外の博物館や歴史協会と引き続き協力し、専門的な支援、ネットワーク作り、博物館やアーカイブのプログラム開発におけるその他の援助を提供する。

### 2.3.3. 顧客サービス

- 2.3.3.1. 研究図書館、公文書館、博物館において、電話、郵便、電子メール、直接来館による一般からの問い合わせに引き続き対応する。
- 2.3.3.2. 出版物、展示物、ウェブコンテンツ、個人使用のために、博物館、図書館、公文書館のコレクションから資料のスキャンを提供し続ける。
- 2.3.3.3. 博物館関連の出版物を地域の適切な場所に展示する。

#### 2.3.4. 施設

- 2.3.4.1. 公園内の可能性のある場所に加え、ゲートウェイ・コミュニティにおいて、博物館やアーカイブの作業・保管スペースの可能性を調査する。

### 2.4. 個人向けサービス

#### 2.4.1. 広報室

- 2.4.1.1. ゲートウェイ観光局や商工会議所との強力な連携を継続し、タイムリーかつ正確で一貫した情報の流れを確保する。

#### 2.4.2. ゲートウェイ・ビジターセンター

- 2.4.2.1. すべてのゲートウェイ・ビジターセンターにおいて、NPS、パートナー、ボランティアによる人員配置を支援するための資金を確保する。

#### 2.4.3. ブリスバーク

- 2.4.3.1. ブリスバーク（Briceburg）のビジターセンターの改修に伴う、BLMの人員配置を支援する。

#### 2.4.4. グローブランド

- 2.4.4.1. 町のインフォメーションセンターにレンジャーのスタッフを配置するための資金調達のを機会を模索する。

#### 2.4.5. マリポサ

- 2.4.5.1. この場所に季節レンジャーとボランティアを配置することにより、Interagency Visitor Center とのパートナーシップを継続する。

#### 2.4.6. モノ盆地

- 2.4.6.1. リー・バイニングのモノ・ベイスン・シーニック・エリア・ビジターセンターで、パートナーシップの目標を推進するための、サービス・ファーストの権限またはその他の適切な協定を検討する。

#### 2.4.7. オークハースト

2.4.7.1. この場所に季節レンジャーとボランティアを配置することにより、ビジタービューローとのパートナーシップを継続する。

#### 2.4.8. アニバーサリー・プログラム

2.4.8.1. 商工会議所、ビジタービューロー、ビジターセンターにユニークな記念出版物を配布する。

2.4.8.2. アニバーサリー・プログラムのインタープリテーションや情報提供プログラムを通じて、関心のある地域団体にアニバーサリー・プログラムを紹介する。

2.4.8.3. 地域の商工会議所、観光局、その他の関連観光団体の会合に出席し、記念日情報を広める。

2.4.8.4. 地域商工会議所、観光局、その他の関連観光団体と協力し、印刷広告、社説、副資材を通じて記念日を宣伝する。

2.4.8.5. ヨセミテ・ゲートウェイ・パートナーズ組織を通じて、記念日プログラムに積極的に参加する地域住民を募集する。

2.4.8.6. アニバーサリー記念イベントやインタープリテーションと教育的プログラムを開催することにより、この歴史上重要な時期に共有された遺産を紹介することに地域社会を参加させる。

2.4.8.7. アニバーサリーを称える持続可能な地元の記念商品の生産に、地域社会の業者を参加させる。

2.4.8.8. アニバーサリーの特別展示を既存のギャラリーや博物館に統合する機会を模索する。

2.4.8.9. 地域社会における周年記念遺産強化プロジェクトにより、NPS のビジョンを推進する機会を探る。

#### 2.5. ボランティア・プログラム

2.5.1. ゲートウェイ・コミュニティのビジターインフォメーション施設をサポートするボランティア・プログラムを開発する。

2.5.2. 地域住民のための有意義なボランティア機会を開発する。

2.5.3. ゲートウェイ・コミュニティへの働きかけの一環として、ボランティア・プログラムのマーケティングを改善する。

2.5.4. 全国的なボランティア行事（マーティン・ルーサー・キング牧師奉仕の日、全国ボランティアデーなど）に地域社会を参加させる。

2.5.5. ボランティア・プログラムに参加するため、通勤距離の遠い地域社会から、十

分なサービスを受けられていない人々（障害のある青少年や退役軍人など）に働きかける。

### 3. 公園の入口と境界における人々へのアプローチ

（サウス・エントランス、アーチ・ロック、ビッグ・オーク・フラット、タイオガ・パス、ヘッチ・ヘッチー、チョーチラ・マウンテン・ロード、チェリー・レイク、および境界のトレイル）。

観客の体験 ここで扱われる目標には以下が含まれる：

- ・ヨセミテならではの場所の感覚を体験する。
- ・ゲートウェイ・コミュニティ、公共メディアでヨセミテの情報に簡単にアクセスできる、代替フォーマット、多言語、適切なテクノロジーを通じて、ヨセミテの情報に簡単にアクセスできるようにする。
- ・アクセシビリティ、安全性、現在の状況、適切なテクノロジーに対応した、効果的で包括的かつ多様な旅行計画を立てる。
- ・公園のすべての公式情報源から、正確でバランスの取れた一貫性のある情報とメッセージを受け取る。
- ・年齢、民族、性別が多様で、NPS レンジャー、ボランティア、公園パートナーを含む年齢、民族、性別の多様な公園のインタープリテーション・スタッフと交流する。
- ・安全な方法で公園を体験する。
- ・ヨセミテで歓迎されていると感じ、信頼と帰属意識を持つ。
- ・様々なレベルや能力に合わせて公園を体験できる。
- ・持続可能な方法で公園を体験する。

#### 3.1. 料金徴収

- 3.1.1. タイムリーで正確、かつ一貫した情報の流れを確保するため、エントランス・ステーションのスーパーバイザーとのコミュニケーションを公式化する。インタープリテーション地区のスーパーバイザーとエントランス・ステーションのスーパーバイザーとの関係をより緊密にする。
- 3.1.2. 季節ごとの研修において、スタッフの相互研修を確実に行う。
- 3.1.3. エントランス・ステーションのスタッフが、インタープリテーションと教育プ

プログラムに関する料金免除や、参加者がこれらのプログラムに参加するのを手助けする方法を知っているようにする。

### 3.2. インタープリテーション・サービス

#### 3.2.1. ビッグ・オーク・フラット (BOF)

3.2.1.1. インフォメーションステーションのロビーとデッキを改装し、アクセシビリティスタンダードを満たし、インタープリテーション、原生地域、ヨセミテ・コンサーバンシーのスタッフのためのより良いビジターインターフェースを作る。

3.2.1.2. ヨセミテ・コンサーバンシーの販売所、原生地域の許可証発行業務、NPS の情報・インタープリテーション施設、DNC ツアーデスクを含む、OF 入口駅、オフィス、ビジターセンターの完全修復を推進。

#### 3.2.2. カスタマーサービス

3.2.2.1. 来園者の体験に関連する情報発信について、公園のパートナーと協力する。

#### 3.2.3. インタープリテーション技術

3.2.3.1. 車載 CD プレーヤー、携帯電話、スマートフォン、GPS ユニット、ビデオプレーヤーなど、入口で来園者に配布する適切な最新技術の開発を検討する。

3.2.3.2. 公園入口からの新しい ITS 無線放送の開発について、来園者・資源保護課と協力する。

#### 3.2.4. プランニング

3.2.4.1. すべての公園入口における情報/案内を策定する。各入口における情報の量と種類に関するニーズ評価を実施する。

3.2.4.2. 公園入り口の新しいキオスク、掲示板、道案内の開発について、プロジェクト管理情報システム (PMIS) とヨセミテ保護区の提案書を作成する。

### 3.3. 個人サービス

3.3.1. 公園入口における個人サービスは、来園者が目的地へ向かう際の体験を向上させるのに十分なものとする。

3.3.1.1. 公園入口での個人サービスは、来園者が目的地へ向かう際の体験を向上させるのに十分なものとする。

- 3.3.1.2. エントランス・ステーションのスーパーバイザーと協力し、動線を補助するためにインタープリターやボランティアを活用できる可能性のある時間と場所を特定する。その目的は、来園者が入園を待っている間に、情報/オリエンテーションを広め、来園者の体験を高めることである。
- 3.3.1.3. 入口駐車場で個人的な情報提供サービスに対するニーズ調査を、入口駐車場の監督者と協力して実施する。

#### 4. ヨセミテの主要な目的地

(ヨセミテ渓谷、マリポサ・グローブ、ワオナ、グレイシャー・ポイント、トゥオルミ、マザー地区/ヘッチ・ヘッチー、タイオガロード) での人々へのアプローチ

ここでは観客体験の全目標を扱っています。この後のページの提言は、運営分野と地域別に構成されています。最初に、各主要目的地で望まれる全体的なインタープリテーションの状況を簡単に説明します。

##### 4.1.1. 氷河ポイント

Glacier Point

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/glacierpoint.htm>

世界で最も壮観な眺望のひとつである氷河ポイントでのインタープリテーションは、景観と地質学に焦点を当てているが、他の多くのテーマにも触れている。この季節の目的地では、正式なプログラム、非公式の巡回、インタープリテーション付き道案内のバランスが保たれる。

##### 4.1.2. マリポサ・グローブ

Mariposa Grove

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/mg.htm>

国立公園構想のきっかけのひとつとなったこのグローブでは、ジャイアント・セコイア、火災、NPS の誕生、その他のテーマのインタープリテーションに重点を置いています。ガイド付き散策、非公式の巡回、トラムツアー、道端の展示、ビジターセンターは、この場所での来園者と公園のニーズを満たすために整備される。

##### 4.1.3. マザー地区/ヘッチ・ヘッチー

Mather District/Hetch Hetchy

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/hetchhetchy.htm>

ヘッチ・ヘッチャー・バレー、ビッグ・オーク・フラット入口、クレーン・フラット、マーセドとトゥオルムのジャイアント・セコイア群生地、ホワイト・ウルフが、この多様で遠く離れた地区を構成している。ここでは幅広いビジターサービスが提供され、インタープリテーション的なテーマの大半に取り組み、ヘッチ・ヘッチャーの物語を通してわが国の環境倫理観の発展を探るまたとない機会がある。

#### 4.1.4. Tuolumne Meadows

Tuolumne Meadows

<https://www.nps.gov/yose/learn/nature/tuolumne.htm>

Tuolumne Wild and Scenic River はヨセミテ原生地域へ続く、この風光明媚な高地を流れている。ここではガイド付き散策、キャンプファイヤー、非公式散策、数日間のガイド付きアドベンチャーなど、伝統的なビジターサービスが提供される。Tuolumne Meadows では多様な解釈的テーマが扱われる。

#### 4.1.5. ヨセミテ渓谷

Yosemite Valley

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/yv.htm>

ジョン・ミューアの「比類なき渓谷」は、国立公園局の象徴的な場所のひとつであり、国立公園構想のインスピレーションともなった場所だ。マーセド・ワイルド・アンド・シーニック・リバー、エル・キャピタン、ハーフドーム、そしてヨセミテ滝は、来園者の大多数がここで体験する風光明媚な背景を形成している。NPS は、映画、展示物、ガイド付きウォーキング、トラムツアー、イブニングプログラム、セルフガイド体験、ボランティア活動などを通じて、公園のすべてのインタープリテーション・テーマに取り組み、ここであらゆるビジターサービスを提供する多くのパートナーに加わっている。

#### 4.1.6. ワオナ

Wawona

<https://www.nps.gov/yose/planyourvisit/yv.htm>

歴史的なホテルと敷地、ヒルズ・スタジオのワウオナ・ビジター・センター、パイオニア・ヨセミテ・ヒストリー・センターがあるワウオナでは、伝統的な国立公園を体験できる。ツアー、デモンストレーション、ステージライド、展示、キャンプファイヤープログラムはすべてこの伝統的な体験の一部であり、自然と文化の歴史をテーマにしている。

### 4.2. 一般的な推奨事項

4.2.1. 2016 年までのヨセミテ記念日活動のための資料作成において、企画チームの努力を支援する。

- 4.2.2. 利権契約の作成に全面的に参加し、インタープリテーションと教育の基準が含まれ、パートナーがサポートされるようにする。
- 4.2.3. 資源管理科学部門との関係を強化し、資源に関する知識や資源保護における新たな問題を常に把握できるようにする。
- 4.2.4. 事業・収入管理スタッフに提示された事業提案の迅速な審査を支援することで、コンセッション業者を支援する。
- 4.2.5. 受賞歴のある、ろう者サービスプログラムの持続可能な資金を確保する。
- 4.2.6. 公園全域でボランティアの功績を称えるため、「your fee dollars at work」の看板と同様の一時的なプログラムを確立する。

### 4.3. 教育プログラム

#### 4.3.1. 教育施設

- 4.3.1.1. ネイチャーブリッジの公園をベースとしたプログラミングのための新しい環境教育キャンパスの開発を推進・支援する。
- 4.3.1.2. NPS とネイチャーブリッジ間の新しい資金調達協定の開発を主導する。
- 4.3.1.3. ネイチャーブリッジと協力し、屋内外のプログラミングスペースを適切かつ拡大する。

#### 4.3.2. プログラム

- 4.3.2.1. カリフォルニア大学マーセッド校のヨセミテ・リーダーシップ・プログラムを通じて、アドベンチャー・リスク・チャレンジ・プログラムを実施する。
- 4.3.2.2. 多様なヨセミテ・リーダーシップ・プログラムの学生のために、識字能力と環境リーダーシップに関連した新しいカリキュラムを開発するために、ビジター・資源保護課および SNRI と協力する。
- 4.3.2.3. ネイチャーブリッジと協力し、教育プログラムの提供に関する NPS のインタープリテーション開発プログラムの基準を守る。
- 4.3.2.4. 環境生活プログラムを拡大し、プログラムの実施においてフィールド支部との協力を継続する。プログラムの実施において、ネイチャーブリッジとのさらなる協力の機会を探る。
- 4.3.2.5. 教室としての公園を拡大し、プログラムの調整を再開するために教育部門に人員を提供する。センテニアル・イニシアティブの資金をこの取り組みに振り向ける。
- 4.3.2.6. 公園での学生のためのサービス・ラーニングの機会を開発する。

#### 4.3.3. インターンシップ

4.3.3.1. ヨセミテ・コンサーバンシー、カリフォルニア大学マーセッド校、ビクター・資源保護部門、資源管理・科学部門との協力関係を継続し、SNRI インターンシップ・プログラムやその他の青少年プログラム、インターンシップの機会を支援する。

#### 4.3.4. 人員配置

4.3.4.1. センテニアル・イニシアティブの資金を、公園内の様々な場所で教育プログラムを提供する 2 名の季節教育技術者を支援するために振り向ける。

#### 4.4. インタープリテーション・サービス

##### 4.4.1. 出版物

4.4.1.1. 公園全体で一般向けに開発されるすべてのインタープリテーション的な出版物 [原生地域教育、火災情報、予防的捜索救助 (PSAR)、RMS など] の承認・編集権を NPS のインタープリテーションと教育部門が保持し、一貫したメッセージとグラフィックの結束を支援する。

4.4.1.2. 最近の来園者調査を活用し、来園者に対する NPS のニーズだけでなく、来園者の視点に立ったニーズに焦点を当て、情報出版物を改善する。

4.4.1.3. トイレ、行列の待ち時間、ピクニックエリアなど、来園者のために、節水、熊への認識、気候変動、その他の公園のメッセージを促進する「パッシブ・インタープリテーション」の機会を公園全体で開発する。

##### 4.4.2. テクノロジー

4.4.2.1. アプリ、ポッドキャスト、その他の電子メディアを作成し、来園者が現地で道案内、情報提供、インタープリテーションを体験できるようにする。

4.4.2.2. 個人向け電子メディアを利用したサイト固有のツアーを検討、開発する。

4.4.2.3. 新しいデジタルメディアにアクセスできるダウンロードセンターを設置する。

4.4.2.4. 適切な場所にデジタル気象観測所を拡張する。

weather stations

#### 4.4.3. 人員配置

4.4.3.1. 恒常的な視聴覚技術者のための持続可能な資金を確保する。

4.4.3.2. ライター・編集者をインタープリテーション・スペシャリストに再分類する。

#### 4.4.4. キャンプ場

4.4.4.1. 公園のすべてのキャンプ場において、案内板やオリエンテーション掲示板を改善し、一貫性のある魅力的な資料を提供することで、道案内を強化し、スチュワードシップ活動やインタープリテーション・プログラムへの参加を促進する。

#### 4.4.5. グレイシャー・ポイント

4.4.5.1. チンカピンとグレイシャー・ポイント間の情報／オリエンテーションの機会を強化する。

#### 4.4.6. マリポサ・グローブ

4.4.6.1. グローブのトレイルヘッドとトレイル沿いに新しい展示物を設計、設置する。

4.4.6.2. ビジター・トランジット・センター、トイレ、トレイルヘッドを含む、グローブ内の修復と新しいビジター体験施設の包括的計画のコア・チームの一員となる。

#### 4.4.7. マザー地区／ヘッチ・ヘッチー

4.4.7.1. この取り組みを支援するために、ヨセミテ保護区とレクリエーション料金の提案を行う。

4.4.7.2. トレイル、ウェイサイド、駐車場などを含む Tuolumne Grove のビジター・エクスペリエンスのリハビリのためのキャピタルキャンペーンを推進する。

4.4.7.3. トゥオルムネ・グローブを主な目的地として利用する正式なツアー（バスグループなど）を特定し、これらのグループに情報を提供し、より有意義で安全な体験を促す。

4.4.7.4. 新しいオフィスとビジターセンターの複合施設を含む、ビッグ・オーク・フラット入り口の改修計画を支援し、計画に参加する。

#### 4.4.8. Tuolumne Meadows

- 4.4.8.1. Tuolumne River Plan の代替案で説明されているインタープリテーションの展示物や施設の開発に参加し、コア・チームと協力して優先事項が NPS の優先代替案の一部となるようにする。
- 4.4.8.2. ハイシエラキャンプの売店のインタープリテーションを支援し、キャンプの建物や看板、掲示板にインタープリテーションの機会を提供する。
- 4.4.8.3. ヨセミテ・コンサーバンシーと協力し、トゥオルミ・ビジターセンターの書店の販売品目を拡大、または調整し、トゥオルミの資源と訪問者の好みをより直接反映させる。

#### 4.4.9. ワオナ

- 4.4.9.1. WVC とパイオニア・ヨセミテ・ヒストリー・センター (PYHC) の案内標識を改善する。
- 4.4.9.2. ワオナ・メドウ・ループ・トレイルの案内・インタープリテーション標識を改善する。
- 4.4.9.3. 施設管理と協力して PYHC の歴史的建造物を修復する。

#### 4.4.10. ヨセミテ溪谷

- 4.4.10.1. ネイチャーブリッジと協力し、ビジターセンターやハッピーアイルズネイチャーセンターで、ネイチャーブリッジの生徒やプログラムによるスチュワードシップへの貢献を紹介する展示を行う。
- 4.4.10.2. ヨセミテビレッジの道案内を改善するため、プロジェクトマネジメントと協力する。
- 4.4.10.3. ヨセミテビレッジ内の別の場所を検討し、Wilderness Education Center の視認性を向上させる。
- 4.4.10.4. バレービジターセンターのフロントデスクにネットワークアクセスを設置し、顧客サービスと天候情報を改善する。
- 4.4.10.5. カリービレッジ、ヨセミテロッジ、ローワーリバーアンフィシアターの改善を促進する。
- 4.4.10.6. Badger Pass や The Ahwahnee Winter Club Room などの場所でのインタープリテーションを強化するため、売店業者やヨセミテ・ウィンター・クラブと提携する。

#### 4.4.11. パークワイド・リテール事業

- 4.4.11.1. 公園の協力者や売店業者と協力し、可能な限り、インタープリテーション的なメッセージを含む商品を開発、販売促進する。

- 4.4.11.2. ヨセミテ環境保護団体の店舗、特にワォナ・ビジター・センターとハッピー・アイルズ・ネイチャー・センターの視認性と一貫性を向上させる。ミッションの価値を反映し、収益を生む商品を提供する。
- 4.4.11.3. ヨセミテ環境保護団体の販売範囲を毎年見直し、新たな機会を探す。
- 4.4.11.4. ヨセミテ保護区の販売地域を、実行可能かつ適切な範囲で拡大する。
- 4.4.11.5. 公園のパートナーと協力し、周年記念公式グッズの承認と販売促進を行う。

#### 4.4.12. 出版（ヨセミテ・コンサーバンシー）

- 4.4.12.1. 小売業とは予算を分ける
- 4.4.12.2. プロジェクトのための複数年資金を確保する。
- 4.4.12.3. ジュニア・レンジャーの出版物を拡大する（シニア、原野、季節など）。
- 4.4.12.4. インタープリテーション的な価値が高いが、収益が限定的な出版物のための「遺産基金」を設立する。
- 4.4.12.5. 現在のヨセミテ保護区の製品（ヨセミテ国立公園完全ガイドブック、ヨセミテ・ロード・ガイド、フォトグラファーズ・ガイド）の更新とデザインの変更。
- 4.4.12.6. 30万ドルの回転基金を作り、プロジェクトを迅速に開始できるようにする。

#### 4.5. ミュージアム・プログラミング

##### 4.5.1. 出版物

- 4.5.1.1. アーカイブズガイドを作成・発行する。
- 4.5.1.2. ヨセミテ博物館のコレクションに関するファクトシートを作成する。
- 4.5.1.3. ミュージアムガイドの作成と発行

##### 4.5.2. 展示

- 4.5.2.1. ミュージアムギャラリーの回転展示を通して、ヨセミテの素晴らしいミュージアムコレクションを引き続き展示する。
- 4.5.2.2. 公式協定によりヨセミテ・ルネッサンスとの関係を正式なものとし、毎年開催されるコンクールや毎年開催されるコンペティションと展覧会の促進を継続する。
- 4.5.2.3. 年表の追加など、インディアン文化展示の内容を更新する。

#### 4.5.3. コレクションのデジタル化

4.5.3.1. 所蔵している歴史的なフィルムや録音テープをデジタル化する。

#### 4.5.4. ツアー

4.5.4.1. スタッフ、パートナー、ボランティアのために、常設展示と一時展示の学芸員ツアーを開発する。

#### 4.5.5. オーラルヒストリー

4.5.5.1. オーラル・ヒストリー・プロジェクトのための資金提供を引き続き求める。

4.5.5.2. 機会と資金が許す限り、オーラルヒストリーを収集する。

#### 4.5.6. 施設

4.5.6.1. 展示品、収蔵品保管庫、事務スペースを含む歴史的博物館の建物を保護するための防火システムの設計と設置のための資金を確保する。

4.5.6.2. 展示物、コレクション保管、オフィススペースに適切な環境を提供するため、歴史的建造物に適切な空調システムのための資金を確保する。

4.5.6.3. 博物館計画への参加を継続し、既存施設の改善と新施設の開発を追求し、職員と一般市民のアクセスを改善し、コレクションの展示スペースを拡大する。

4.5.6.4. 博物館、図書館、公文書館のスペースの過密状態を緩和するため、また標準以下の保管場所から収蔵品を撤去するために、保管場所や作業スペースを追加する機会を模索する。

#### 4.5.7. 手続き／回収管理

4.5.7.1. 新規収蔵品をスタッフに通知する手順を策定する。

4.5.7.2. 年次研修プログラムを通じて記録管理の強化を推進する。

4.5.7.3. 目録記録を現在の基準に合わせるため、コレクションの文書化を改善する。

4.5.7.4. 職員、研究者、来園者が利用できるようにするため、未目録の収蔵品の目録作成を進める。

4.5.7.5. 将来の研究、利用、展示のためにこの資源を保護するため、博物館コレクションの保管場所の再収容とアップグレードを継続する。

4.5.7.6. 民族誌コレクションの現状調査を完了し、公園の民族誌コレクションの現状を評価し、展示、保管、処理に関する提言を行う。

- 4.5.7.7. コレクション保存と展示のための美術品保存処理を完了する。
- 4.5.7.8. 写真と紙のコレクションの現状調査を実施し、公園の写真と紙のコレクションの現状を評価し、展示、保管、処理に関する提言を行う。
- 4.5.7.9. コスモポリタンレジスターを展示・研究用に安定させるため、推奨される処理を完了する。

#### 4.5.8. 研究図書館

- 4.5.8.1. ヨセミテ渓谷において、来園者、スタッフ、パートナー向けに、現地での研究および公共コンタクト施設を提供し続ける。
- 4.5.8.2. 図書館や博物館資料のコピー、スキャン、その他の一般利用への提供を継続する。
- 4.5.8.3. スタッフ、パートナー、ボランティア、来園者のニーズを満たす図書館コレクションを開発する。
- 4.5.8.4. 新規購入のためのスペースを確保するため、図書館のコレクションから、範囲外の資料や不必要な資料を削除し続ける。

### 4.6. 個人サービス

#### 4.6.1. コーチングとトレーニング

- 4.6.1.1. 成功した GS-9 の季節的なインタープリテーション・コーチ職を継続し、公園全体のすべてのパートナーにインタープリテーションのコーチングを提供する。ヨセミテ・コンサーバンシーのボブ・ハンセン基金、または売店フランチャイズ料 80%の資金提供により、この職の継続的な資金提供を支援する。
- 4.6.1.2. すべての公園のインタープリテーション・パートナーのために、季節ごとのトレーニングにおいて、NPS のリーダーシップとサポートの役割を継続する。
- 4.6.1.3. インタープリター、ツアーバスの運転手、厩舎ガイド、登山ガイドなどとして来園客に接するすべての関係者に、専門的なインタープリテーション資格を提供する主要なコンセッションナーの取り組みを支援する。
- 4.6.1.4. 公認インタープリテーション・ガイド、ホスト、トレーナーコースなどの NAI トレーニングを毎年開催する際に、主要コンセッション会社と協力する。

#### 4.6.2. 住宅

- 4.6.2.1. スタッフの没頭体験と来園者へのより良いサービスを促進するため

公園地区内の現場スタッフの住居を推進する。

4.6.2.2. Inyo National Forest と協力して、Lee Vining Canyon の省庁間宿舎を促進する。

4.6.2.3. 特にヨセミテ渓谷において、ヨセミテ・コンサーバンシー、シエラ・クラブ、ボランティアなどのパートナーのための住居の解決策を引き続き模索する。

4.6.2.4. 公園全体で、開発されたボランティアキャンプ場と割り当てシステムを推進する。

#### 4.6.3. 氷河ポイント

4.6.3.1. グレイシャー・ポイントアンフィシアターにおけるすべてのインタープリテーションと教育的プログラムを調整し、承認する。

4.6.3.2. 夜空のインタープリテーション提供におけるパートナーシップの促進と拡大を継続する。

#### 4.6.4. マリポサ・グローブ

4.6.4.1. マリポサ・グローブ修復プロジェクトの一環として、新しいコンタクトステーションが追加された場合、そこにスタッフを配置し、情報、オリエンテーションを提供し、インタープリターの巡回やプログラミングのための出発点とする。

4.6.4.2. グローブ博物館のボランティアスタッフ（ヨセミテ・コンサーバンシーによる）を提供する。

4.6.4.3. 焼畑作業中の防火管理への支援を増やす。

#### 4.6.5. マザー地区／ヘッチ・ヘッチー

4.6.5.1. ホワイト・ウルフとビッグ・オーク・フラット(BOF)の両方にある地区スタッフのための管理スペースを強化する。

4.6.5.2. ホッジドン・メドウズ・キャンプ場でのキャンプファイヤーサークルまたは円形劇場の計画を立案し、推進する。

4.6.5.3. 公園内の他の目的地へのお出発点であるキャンプ場では、このビジター・ニーズに関連したオリエンテーションや情報提供、また地区内のアクティビティやプログラムの促進に、パーソナルサービスの焦点を当てる。

4.6.5.4. Dimond O キャンプ場、Evergreen Lodge、Camp Mather、Camp Tawonga で提供されている個人向けサービスを拡大する。これらの場所の施設管理者とより緊密な関係を築き、ビジターサービス

の提供における提携を模索する。家族向けのこれらの場所で、ジュニア・レンジャーやスチュワードシップ・プログラムの機会を増やす。

4.6.5.5. 重要な目的地として Tuolumne Grove を利用するツアーグループ(バスグループなど)を特定する。ガイド付きツアーを提供し、これらのグループの体験と安全性を高めるとともに、資源の保護を図る。

#### 4.6.6. Tuolumne Meadows

4.6.6.1. Tuolumne River Plan のコア・チームへの積極的な参加を継続し、インタープリテーションと教育の役割と機能を促進し、Tuolumne Meadows 地域にインタープリターと教育者を継続的に確保する。

4.6.6.2. Tuolumne Meadows で幅広いインタープリテーション・プログラムを提供し続ける。

4.6.6.3. パーソンズ記念ロッジのサマーシリーズを継続し、そのための持続可能な資金を確保する。

#### 4.6.7. ワオナ

4.6.7.1. 地区内のホテルや企業とのパートナーシップを継続または拡大し、個人的なインタープリテーションサービスを支援する。

4.6.7.2. ヒルズ・スタジオのワオナ・ビジターセンターの運営において、成功した協力関係を継続する。

4.6.7.3. パイオニア・ヨセミテ・ヒストリー・センターを完全に運営するため、ボランティアと有給スタッフのレベルを回復する。

4.6.7.4. 地区スタッフのためのオフィススペースの修繕と改善

#### 4.6.8. ヨセミテ渓谷

4.6.8.1. ビッグ・ウォール・クライミングのインタープリテーションを強化するため、ヨセミテクライミング協会とのパートナーシップを確立する。

4.6.8.2. ヨセミテロッジの屋内施設のアップグレードを完了し、質の高いビジター体験を保証するため、主要なコンセッショナーと引き続き協力する。

4.6.8.3. インディアン文化のデモンストレータースタッフを増やすための資金を確保する。

4.6.8.4. 部族グループと提携し、新しいインディアン文化センターにおけるインディアン文化の補完的なプログラムを調整する。

- 4.6.8.5. GS-9 の監督職を設置し、繁忙期にはバレー運営監督を補佐する。
  - 4.6.8.6. 割り当てられた巡回時間と場所を引き続き拡大し、できるだけ頻繁に他の言語で多文化聴衆に接する。
  - 4.6.8.7. 捜索救助(SAR)及び安全管理室との連絡担当者を指名し、主要地域における効果的な PSAR 及び安全メッセージを開発し、維持する。
  - 4.6.8.8. ヨセミテシアターの継続的な成功を確実にするため、パートナーと協力する。
  - 4.6.8.9. DNC、シエラ・クラブ、TAAG、ヨセミテ・コンサーバンシーを含む主要なインタープリテーション・パートナーによる、伝統的で新しい公共プログラムを調整し、サポートする。
  - 4.6.8.10. 国立公園ファミリーデー、国立公園ウィーク、アースデーなどの特別行事の標準的な運営手順を開発するために、売店業者や他のパートナーと協力する。
  - 4.6.8.11. ジュニア・レンジャーやその他のインタープリテーション・プログラムの拡充を継続する。
  - 4.6.8.12. 来園者に情報を提供し、オリエンテーションを行うための広報室スタッフの持続可能な資金調達を引き続き支援する。
- 4.6.9. ボランティア
- 4.6.9.1. インタープリテーションと教育に関するボランティアの機会を公園全体で増やす。
  - 4.6.9.2. パートナーや NPS ボランティア・プログラムと協力し、ボランティアの募集、住居、資金、利用の増加を支援する。
  - 4.6.9.3. 支部や地区を超えたリーダーシップと調整を提供するために、支部ボランティアコーディネーターを任命する。
  - 4.6.9.4. ボランティア・リーダーシップ・チームに積極的に参加する。
  - 4.6.9.5. インタープリテーションと教育プログラムのマーケティングにボランティア・プログラムを統合する。
- 4.6.10. 野外教室プログラム（ヨセミテ・コンサーバンシー）
- 4.6.10.1. 持続可能な外部資金で教育ディレクターを支援する
  - 4.6.10.2. カスタムプログラミングの能力を高める
  - 4.6.10.3. 新しいカリキュラムの機会を探求し、毎年新しいプログラムを試験的に実施する。
  - 4.6.10.4. 助成金、特に文化的多様性への取り組みを支援するための助成金を引き続き追求する。

- 4.6.10.5. ヨセミテ美術教育センターの戦略的目標を設定する。
- 4.6.10.6. 中国の姉妹園への旅行を実施し、チリの姉妹園への旅行を計画し、ジョン・ミューアの故郷であるスコットランドなど、将来の国際的なプログラムを検討する。
- 4.6.10.7. 外部からの支援を定期的に募る。

#### 4.6.11. アニバーサリー・プログラム

- 4.6.11.1. 様々な公園スタッフ、公園パートナー、売店、団体、周辺地域社会と協力し、周年プログラム戦略計画を成功させ、実施する。
- 4.6.11.2. アニバーサリー・プログラム委員会を組織し、協力し、管理する：ステアリング、PR/マーケティング、リテール、イベント、プログラム、エグゼクティブ。
- 4.6.11.3. 広報室スタッフと協力し、記念日のメディア報道、プレスリリース、トーキングポイント、立法上の必要性（記念切手、造幣局など）を調整する。
- 4.6.11.4. 公園のインディアン文化渉外担当者と協力し、関連部族が希望通りに関与できるようにする。
- 4.6.11.5. 適切な記念日プログラムを提供するため、インディアン文化実演スタッフと協力する。
- 4.6.11.6. 博物館スタッフと協力し、博物館に適切な記念日の展示物を設置する。
- 4.6.11.7. 公園司書と協力し、豊富な図書館資料を活用した適切な記念日の機会を提供する。
- 4.6.11.8. 公園の公文書館と協力し、公文書館の豊富な資源を活用した適切な記念日の機会を提供する。
- 4.6.11.9. ヨセミテ従業員協会と協力し、より広いヨセミテコミュニティが記念行事に参加できるようにする。
- 4.6.11.10. 年1回の研修を通じて現場スタッフと協力し、記念日独自のインタープリテーション・プログラムを奨励、確保する。
- 4.6.11.11. 2013年から2016年にかけて、公園内外で開催されるアニバーサリー・プログラム（イベント、プログラム、プロジェクト）を実施する。

#### 4.7. ボランティア・プログラム

- 4.7.1. 正式な部門ボランティアコーディネーターの責務を定め、ボランティア利用の5つの主要部門（インタープリテーションと教育、資源管理と科学、施設、

- 来館者と資源保護、ビジネスと収入管理) の責任者を特定する。
- 4.7.2. 効果的なマーケティング、パートナーシップ、各部門のニーズ調査を通じて、ドロップインボランティアを支援する。
  - 4.7.3. パートナーと協力し、国税庁と NPS の規制に関連するボランティアとインターンシップの払い戻しの問題に取り組む。
  - 4.7.4. パートナーや部門と協力し、ワークウィークを増やし、単発的なボランティアの機会を作る。
  - 4.7.5. 公園外で奉仕するボランティアと公園資源とのつながりを維持するため、地域のボランティア参加・研修プログラムを作成する。
  - 4.7.6. 新しいインディアン文化センターで奉仕するボランティアを支援するために、部族と協力する。
  - 4.7.7. 新しい環境教育センターと協力し、宿泊や研修などのためにキャンパスを利用するボランティア・プログラムの機会を検討する。
  - 4.7.8. DO-7 の指示に従い、パートナーと共にボランティア・プログラムの戦略的ビジョンを策定する。
  - 4.7.9. ヨセミテ渓谷にボランティアセンターを設立する。これには、NPS ボランティア事務局スタッフ、ボランティア・プログラムのパートナー、ボランティア表彰とトレーニングのための集会場、潜在的ボランティアのための便利なアクセス、長期滞在ボランティアのニーズへの対応が含まれる。
  - 4.7.10. ボランティア優先利用のためのキャンプ場としてイエローパインの利用を継続し、キャンプ場の衛生、持続可能性、安全性、アクセシビリティの基準を満たすようにアップグレードする。
  - 4.7.11. グループプログラムおよびドロップインプログラムの参加者に対する効果的な評価ツールを開発する。

## 5. 一般的な運用上の推奨事項

### 5.1. アクセシビリティ

5.1.1. 施設、プログラム、メディアをユニバーサル・アクセシビリティ基準に適合するようアップグレードする。施設、プログラム、メディアをユニバーサル・アクセシビリティ基準に適合するように改修または交換することは、連邦政府の規制を遵守するためだけでなく、公園とそのインタープリテーションのテーマを、特に身体障害や学習障害のあるすべての人々が利用できるようにするためにも極めて重要です。売店フランチャイズ料を通じて、ろう者サービスプログラムのための長期資金を確保する。

### 5.2. 資金調達

5.2.1. 新旧の資金源と提案の継続的な開発と改良により、ヨセミテにおけるインタープリテーションと教育の使命を前進させる機会を強化する。公園パートナーを通じての資金援助の強化、OFS 提案の更新と改善、コンセッション・フランチャイズ・フィーの提案の作成、プロジェクトにおける解釈とボランティアの要素に関する RMS との協力など、この文書に記載されている成果を達成するためには、様々なことが必要です。

### 5.3. 出版物の審査と承認

- 5.3.1. 公開情報、インタープリテーションと教育のための出版物や展示資料は、多くの NPS 部門が様々な目的で作成する。このような取り組みがある程度調整され、公園が一貫した声、メッセージ、スタイルで語られることが重要です。NPS のすべての部門が、一般公開のためのインタープリテーション、情報、オリエンテーションのために作成する出版物は、インタープリテーションと教育部門の審査と承認を受けなければならない。ファクトシート、サイトブレティン、トレイルパンフレット、書籍、ニュースレター、チラシ、ポスターなどを含むが、これらに限定されないものは、出版、配布の前に、インタープリテーション・サービス部門長に提出されるべきです。
- 5.3.2. パートナーが制作した製品は、レビューと承認のため、インタープリテーション・マネジメント・チーム (IMT) に提出されるべきです。共同作業を可能にし、労力の重複を避けるため、制作を開始する前に、アイデアをチームで吟味すること。コンセプション商品の審査については、事業・収入管理課を通じて具体的な方針が定められている。

### 5.4. 管理・運営

- 5.4.1. 全ての部門の役職が最新のものであり、適切に分類され、部門の組織図に適切に掲載されていることを確認する。
- 5.4.2. 全 5 部門の成長を反映させるため、部門 OFS 要求を継続的に更新する。
- 5.4.3. 全ての部門間作業グループ及び企画チームへの、インタープリテーションと教育部門の参加を確保する。
- 5.4.4. 他部門と提携し、事務的支援を強化する。

### 5.5. アメリカン・インディアン文化の解釈

- 5.5.1. ヨセミテには、ヨセミテ地域のインディアン文化の解釈に関する強い伝統がある。フィールド・オペレーション支部の NPS インディアン文化プログラムは、これらの物語がどのように語られるかを導く主導的な役割を担っている。公園のインタープリターは、インディアン、非インディアンを問わず、ヨセミテの先住民の歴史を尊重し、正確に伝える責任を共有している。ヨセミテにおける先住民の歴史を、この歴史に関連する多角的な視点を認識し尊重しながら、敬意を持って正確に伝える責任がある。公表されている伝統的な物語（ティシアック、トゥトカヌーラ、アハレなど）は、全ての公園のインタープリターが自由に共有することができる。個々のインディアンに属する個人的な物語は、他の人に語られる前に「贈与」されなければならない。先住民の文化や慣習に関わる新しいインタープリテーション・プログラム、展示

物、出版物は、できるだけ頻繁に公園のインディアン文化リエゾンを通し、部族の審査と意見が求められる。

#### 5.6. 部族のパートナーシップと協力

- 5.6.1. 全トライブス会議への積極的な参加を継続する。
- 5.6.2. 新しいプログラムのアイデアや、インタープリテーションと教育的プログラムにおける伝統的に神聖なものの使用について、必要に応じて公園の部族連絡係や部族代表と協議する。
- 5.6.3. マリポサ郡アメリカ・インディアン評議会 (AICMC) と緊密に協力し、キャンプ4 近くのワホガにある新しいインディアン文化センターのプログラムを開発する。
- 5.6.4. AICMC と協力し、可能な限りボランティア・プログラムへの影響を最小限に抑えるため、十分前もってキャンプの必要性を確立する。

#### 5.7. 評価

インタープリテーション・ルネッサンスの柱のひとつは、評価の文化を創造することです。インタープリテーションと教育プログラムの直接的な成果や影響について、科学的に有効な情報はほとんどありません。継続的なプログラムの改善、有効性、効率性を確保するためには、評価がプログラムの設計と実施に不可欠な要素とならなければなりません。この目標を達成するために、ヨセミテのインタープリテーションと教育プログラムは、以下のことを行います：

- 5.7.1. 主要な展示物や出版物の開発において、フロントエンド評価を実施する。
- 5.7.2. GS-7 と GS-9 の季節的な指導通訳者を募集・雇用し、NPS とパートナーのための個人的なインタープリテーション・サービスを評価・指導する。このプログラムの資金源となる売店フランチャイズ料を確保する。
- 5.7.3. 助成金を募り、大学、ヨセミテの RMS Branch of Visitor Use and Social Science、外部機関 (Stephen F. Austin State University など) と協力して、インタープリテーションの成果と影響、来園者と非来園者の特徴、公園へのアクセスに対する文化的・経済的障壁、その他関連するテーマに関する来園者調査を実施する。
- 5.7.4. インタープリテーションの要素がある商品、サービス、プログラムを評価するための、より良いツールの開発に、公園や機関の社会学者を参加させる。
- 5.7.5. ヨセミテのインタープリテーション・パートナーとの相互トレーニングや相互指導を促進する。
- 5.7.6. インタープリテーション開発プログラムの中で、NPS の正職員のための製品

認証に重点を置くようにする。

- 5.7.7. 進行中の全てのプログラムに評価を取り入れ、フィードバックに基づいてプログラムを改善する。